
第3章 調査の実施概要と集計結果

第3章 調査の実施概要と集計結果

第1部 調査結果の主なポイント

ここでは、今回の調査結果から、季節ごとの比較や主なポイントなどを抜粋して記載した。すべての調査結果については第2部に掲載した。

I 調査の目的

平成20年4月に「福井県地産地消の推進に関する条例」が施行され、また、平成21年3月には、「ふくいの食育・地産地消推進計画」が策定されるなど、県民および関係団体等が一体となって本県の地産地消を推進するための取組みが求められる中、本件における地産地消の状況を調査し、地産地消を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

II 調査内容

調査は、消費世帯調査、県内農林水産物の生産量調査、流通・加工調査、飲食店・病院福祉施設調査の4調査を実施した。

消費世帯調査

県内から地勢区分に応じて無作為に選定された28調査区に対して、各区の住戸に居住する50世帯の世帯員（計1,400世帯）を調査対象とし、夏、秋、冬の3期において、それぞれ平日と休日の2日分の調査を訪問形式で行った。あわせて、秋の調査時には「農業（家庭菜園含む）アンケート」、冬の調査時には「食生活に関するアンケート」を行った。

生産量調査

福井農林水産統計年報（福井農林統計協会）など、国、地方自治体、農業協同組合、各種統計機関、市場などで公表されている資料をもとに過去3年間の数値を調査した。

流通・加工調査

福井県経済農業協同組合連合会、福井県内に所在する青果市場、水産市場（産地・消費）、主要4漁港市場（三国、越前、敦賀、小浜）に参加する仲買人（4市場）、コンビニエンスストア地区本部、常設の農産物直売所、平成18年度事業所・企業統計調査に基づく全ての小売業者、食料品製造業者、酒類製造業者に対し、過去1年間（平成20年）の農林水産物の仕入量および産地の別、出荷量、および出荷先の別などについて訪問および郵送の調査を行った。

飲食店・病院福祉施設調査

平成18年度事業所・企業統計調査に基づく福井県内に所在するすべての一般飲食店、料亭、酒場・ビアホール、旅館・ホテル、病院・老人福祉・介護施設に対し、秋、冬の2期において、それぞれ1週間分の農林水産物の仕入れ量と産地別の調査を郵送形式で行った。

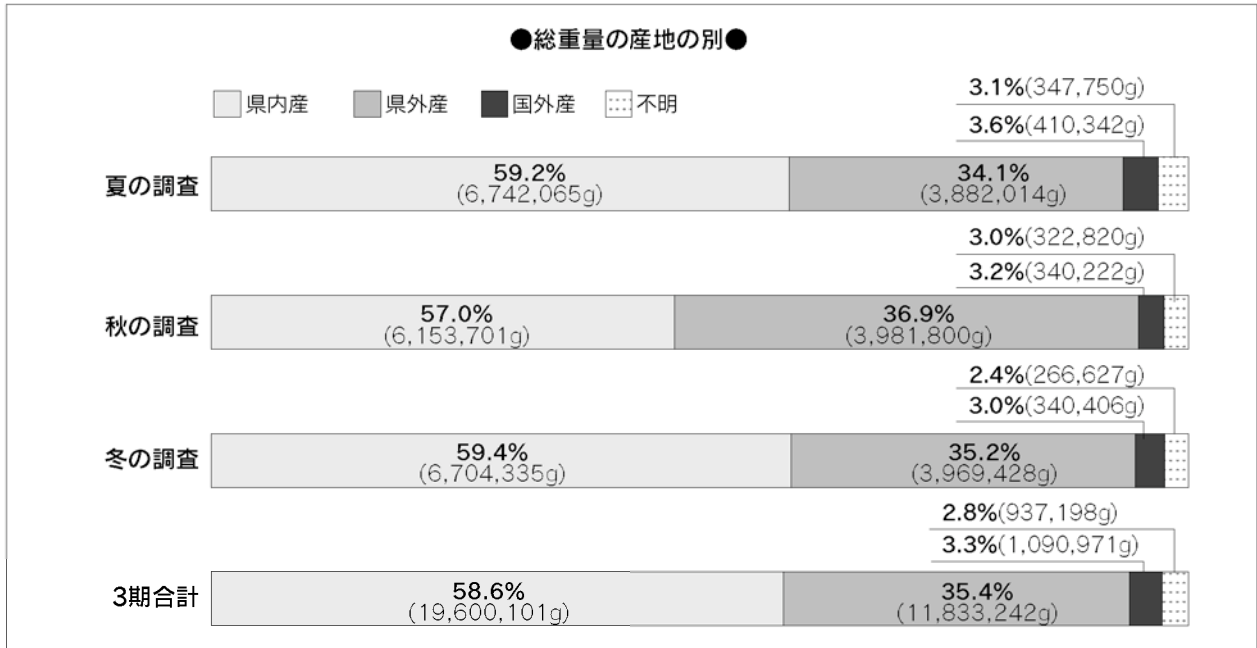
Ⅲ 調査結果

1.消費世帯調査

1)消費世帯調査における県内産品消費割合

夏の調査では59.2%、秋の調査では57.0%、冬の調査では59.4%、3期合計では58.6%となっている。

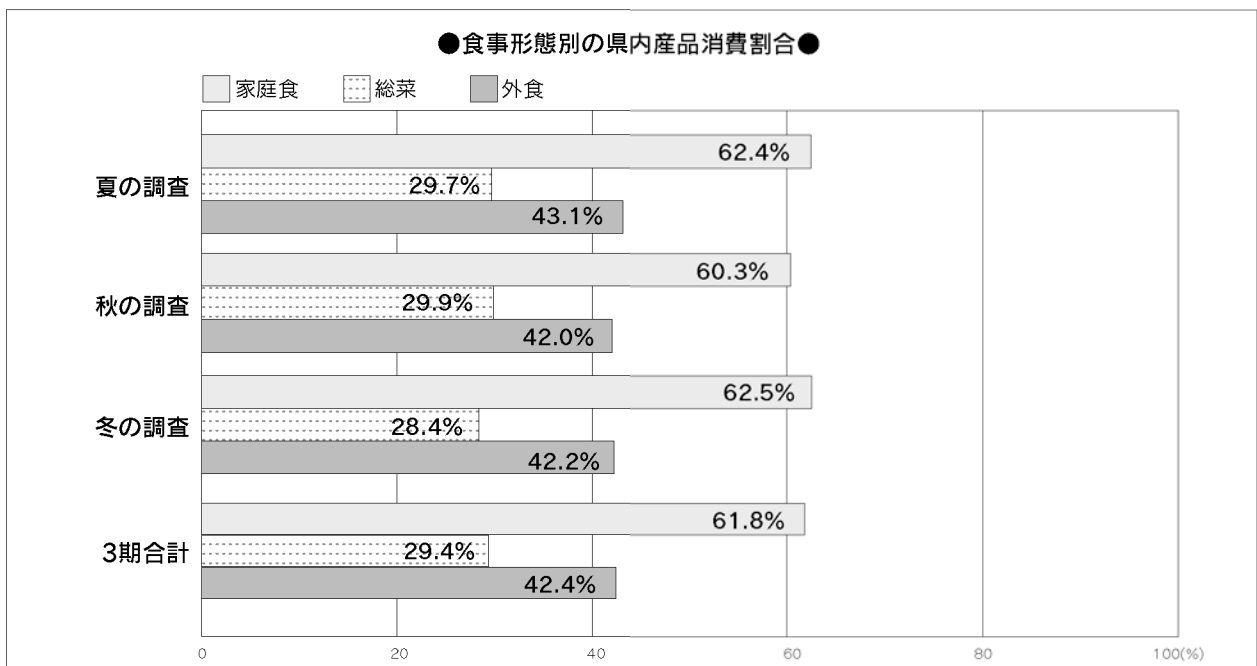
(ダイジェスト世帯・グラフ1)



2)食事形態別の県内産品消費割合

家庭で調理された食事を「家庭食」、調理済品や加工品を家庭で食べたものを「総菜」、家庭以外で食べたものを「外食」の3つに分類すると、どの季節においても「家庭食」の県内産品消費割合が6割を超え、最も高くなっている。

(ダイジェスト世帯・グラフ2)



●世帯調査での主な農林水産物(60品目)の産地割合[3期合計]

(ダイジェスト・表1)

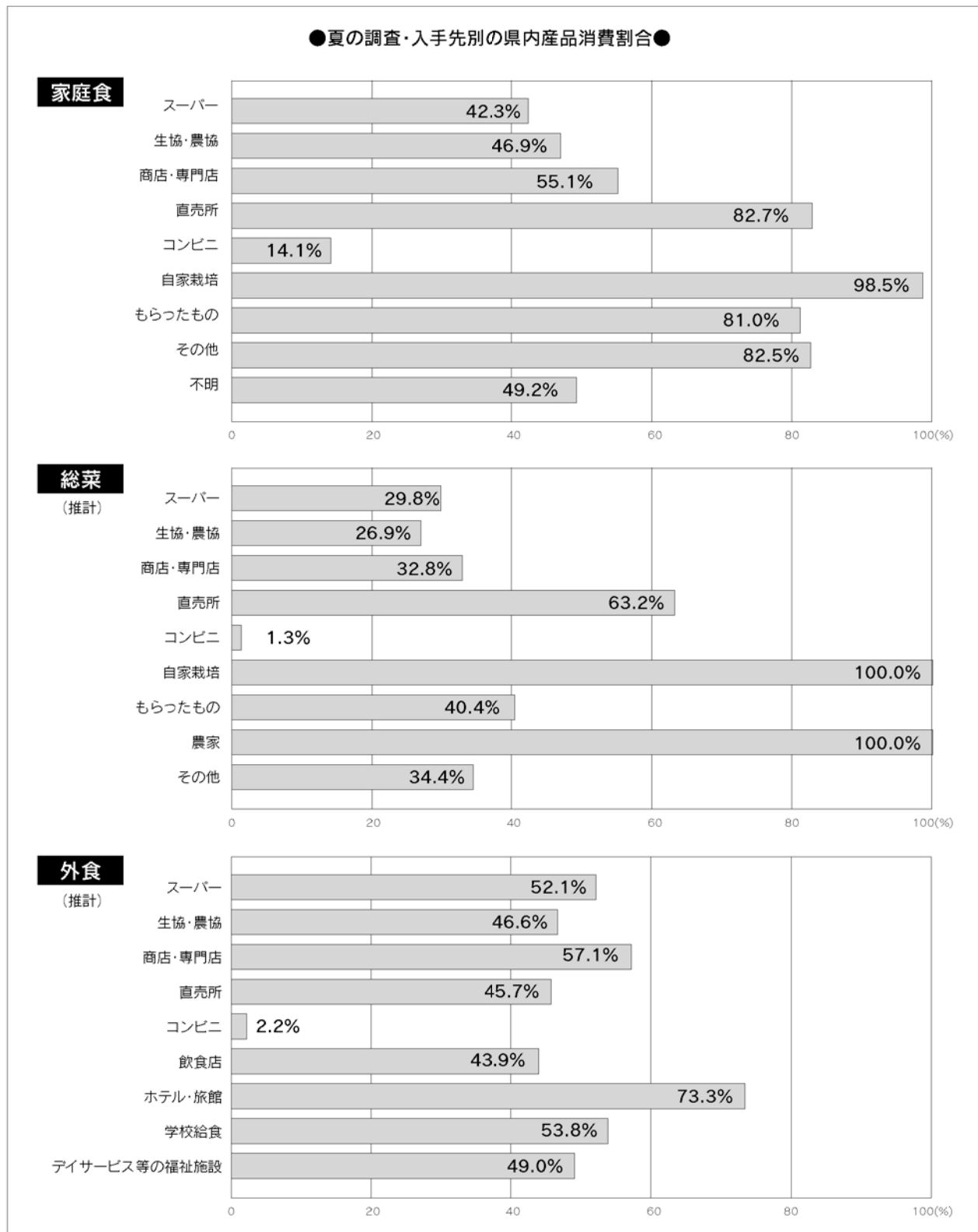
ジャンル	No	品目	県内		県外		国外		不明		合計		
			重量(g)	(%)	重量(g)	(%)	重量(g)	(%)	重量(g)	(%)	重量(g)	(%)	
穀物	1	米	5,313,223	91.5	446,756	7.7	4,529	0.1	45,124	0.8	5,809,632	100.0	
	2	麦	38,042	10.5	103,839	28.8	177,507	49.2	41,406	11.5	360,795	100.0	
	3	大豆	30,407	50.1	19,652	32.4	9,806	16.1	867	1.4	60,733	100.0	
	4	そば	17,595	55.6	7,339	23.2	5,991	18.9	711	2.2	31,636	100.0	
野菜	5	だいこん	1,480,668	85.0	237,174	13.6	721	0.0	23,018	1.3	1,741,580	100.0	
	6	にんじん	413,733	57.0	295,113	40.7	2,338	0.3	14,128	1.9	725,312	100.0	
	7	はくさい	799,631	84.6	133,268	14.1	13	0.0	12,536	1.3	945,449	100.0	
	8	キャベツ	408,783	53.7	332,871	43.7	548	0.1	18,847	2.5	761,049	100.0	
	9	ほうれんそう	287,477	83.9	50,919	14.9	1,023	0.3	3,270	1.0	342,688	100.0	
	10	ねぎ	303,645	84.5	50,633	14.1	442	0.1	4,582	1.3	359,303	100.0	
	11	なす	392,929	88.5	42,764	9.6	475	0.1	7,959	1.8	444,127	100.0	
	12	トマト	450,053	68.8	184,964	28.3	5,614	0.9	13,286	2.0	653,918	100.0	
	13	きゅうり	405,647	74.3	129,084	23.6	493	0.1	10,883	2.0	546,108	100.0	
	14	ピーマン	128,320	80.0	28,604	17.8	1,220	0.8	2,204	1.4	160,348	100.0	
	15	ばれいしょ	1,070,005	69.9	430,535	28.1	4,920	0.3	25,246	1.6	1,530,706	100.0	
	16	さといも	298,641	93.5	17,715	5.5	319	0.1	2,666	0.8	319,340	100.0	
	17	たまねぎ	855,699	71.0	327,651	27.2	5,101	0.4	16,600	1.4	1,205,051	100.0	
	18	すいか	93,976	84.4	16,177	14.5	0	0.0	1,251	1.1	111,404	100.0	
	19	メロン	7,327	54.4	5,524	41.0	0	0.0	609	4.5	13,460	100.0	
	20	らっきょう	4,026	90.0	250	5.6	195	4.4	0	0.0	4,471	100.0	
	21	かぶ	73,468	94.2	3,933	5.0	0	0.0	626	0.8	78,027	100.0	
	22	ごぼう	53,680	35.7	89,077	59.3	2,257	1.5	5,188	3.5	150,202	100.0	
	23	ブロッコリー	52,995	59.0	33,739	37.6	1,930	2.1	1,172	1.3	89,837	100.0	
	24	レタス	126,218	38.9	185,932	57.3	0	0.0	12,201	3.8	324,352	100.0	
	25	かぼちゃ	314,901	80.0	65,573	16.7	5,107	1.3	8,076	2.1	393,658	100.0	
	26	スイートコーン	9,428	25.7	22,280	60.8	3,659	10.0	1,280	3.5	36,647	100.0	
	27	さやいんげん	18,458	60.4	10,519	34.4	1,228	4.0	335	1.1	30,540	100.0	
	28	さやえんどう	2,261	24.7	6,736	73.5	132	1.4	34	0.4	9,162	100.0	
	29	えだまめ	24,379	53.2	18,953	41.4	1,907	4.2	549	1.2	45,788	100.0	
果物	30	梅	3,141	52.0	2,829	46.8	46	0.8	24	0.4	6,040	100.0	
	31	柿	215,960	73.2	75,924	25.7	0	0.0	3,220	1.1	295,104	100.0	
	32	梨	224,657	66.7	103,374	30.7	0	0.0	8,942	2.7	336,972	100.0	
	33	みかん	68,159	20.5	260,930	78.3	1,078	0.3	3,022	0.9	333,189	100.0	
	34	ぶどう	7,324	9.7	38,098	50.7	28,437	37.8	1,331	1.8	75,190	100.0	
	35	もも	1,750	14.5	9,179	76.3	510	4.2	598	5.0	12,037	100.0	
	36	くり	7,743	54.4	5,390	37.9	1,080	7.6	9	0.1	14,222	100.0	
	37	キウイ	16,620	46.3	9,333	26.0	7,710	21.5	2,244	6.2	35,907	100.0	
畜産物	38	牛肉	100,204	18.9	334,480	63.2	75,900	14.3	18,354	3.5	528,937	100.0	
	39	豚肉	114,976	13.3	629,507	72.8	97,247	11.3	22,641	2.6	864,370	100.0	
	40	鶏肉	88,371	14.0	486,696	77.3	31,936	5.1	23,003	3.7	630,007	100.0	
	41	牛乳	534,183	40.0	775,104	58.1	4,602	0.3	20,207	1.5	1,334,096	100.0	
	42	鶏卵	745,985	80.3	165,348	17.8	1,073	0.1	16,953	1.8	929,359	100.0	
林産物	43	しいたけ	45,477	54.3	36,367	43.4	625	0.7	1,294	1.5	83,763	100.0	
	44	なめこ	10,331	42.5	13,480	55.4	50	0.2	450	1.9	24,311	100.0	
	45	ひらたけ	21,931	22.4	73,822	75.5	145	0.1	1,845	1.9	97,743	100.0	
	46	えのき	56,981	46.3	64,002	52.0	85	0.1	2,069	1.7	123,137	100.0	
水産物	47	あじ類	80,947	64.0	39,484	31.2	1,633	1.3	4,388	3.5	126,452	100.0	
	48	ぶり類	41,483	34.1	73,594	60.5	906	0.7	5,711	4.7	121,694	100.0	
	49	かれい類	90,155	70.9	29,549	23.2	1,588	1.2	5,936	4.7	127,229	100.0	
	50	さわら類	4,312	37.6	6,060	52.8	600	5.2	500	4.4	11,472	100.0	
	51	さば類	110,490	42.0	97,399	37.0	27,850	10.6	27,333	10.4	263,072	100.0	
	52	するめいか	21,085	29.1	50,422	69.6	232	0.3	717	1.0	72,457	100.0	
	53	いか類	95,977	57.8	58,445	35.2	1,123	0.7	10,419	6.3	165,963	100.0	
	54	えび類	54,573	24.1	72,676	32.1	84,618	37.4	14,310	6.3	226,176	100.0	
	55	とびうお	431	85.8	72	14.2	0	0.0	0	0.0	503	100.0	
	56	貝	14,621	19.9	53,901	73.4	1,430	1.9	3,475	4.7	73,427	100.0	
	57	はたはた	9,577	62.4	5,146	33.5	0	0.0	620	4.0	15,343	100.0	
	58	たい類	27,067	61.3	14,784	33.5	733	1.7	1,602	3.6	44,186	100.0	
	59	ずわいがに	8,211	48.7	5,062	30.0	2,343	13.9	1,257	7.5	16,874	100.0	
	60	ふく類	1,401	59.6	800	34.0	0	0.0	150	6.4	2,351	100.0	
	その他	61	その他	3,300,364	35.9	4,944,413	53.8	479,915	5.2	459,919	5.0	9,184,611	100.0
			合計	19,600,101	58.6	11,833,242	35.4	1,090,971	3.3	937,198	2.8	33,461,511	100.0

3)入手先別の県内産品消費割合

①夏の調査

入手先別で県内産品消費割合を見てみると、家庭食、総菜ともに購入による入手においては、「直売所」における入手で県内産品の割合が最も高い。総菜における入手でも似た傾向を示しているが、家庭食に比べて、20ポイント近く低い。また、外食では、「ホテル・旅館」における入手で県内産品の割合が高くなっている。

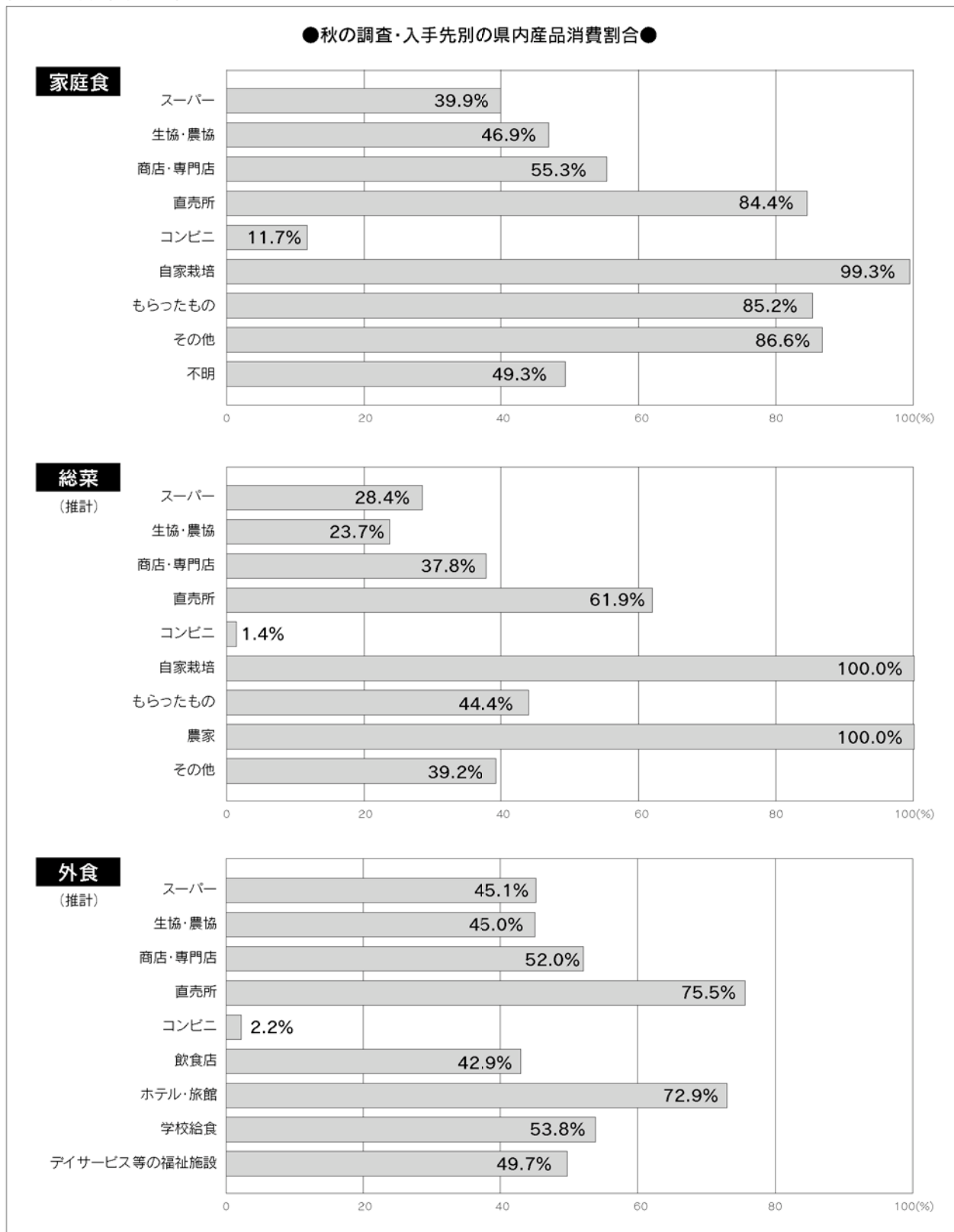
(ダイジェスト世帯・グラフ3)



②秋の調査

入手先別で県内産品消費割合を見てみると、家庭食、総菜、外食ともに購入による入手においては、「直売所」における入手で県内産品の割合が最も高い。総菜における入手でも似た傾向を示しているが、家庭食に比べて、20ポイント近く低い。また、外食では、「ホテル・旅館」における入手で県内産品の割合が「直売所」に次いで高くなっている。

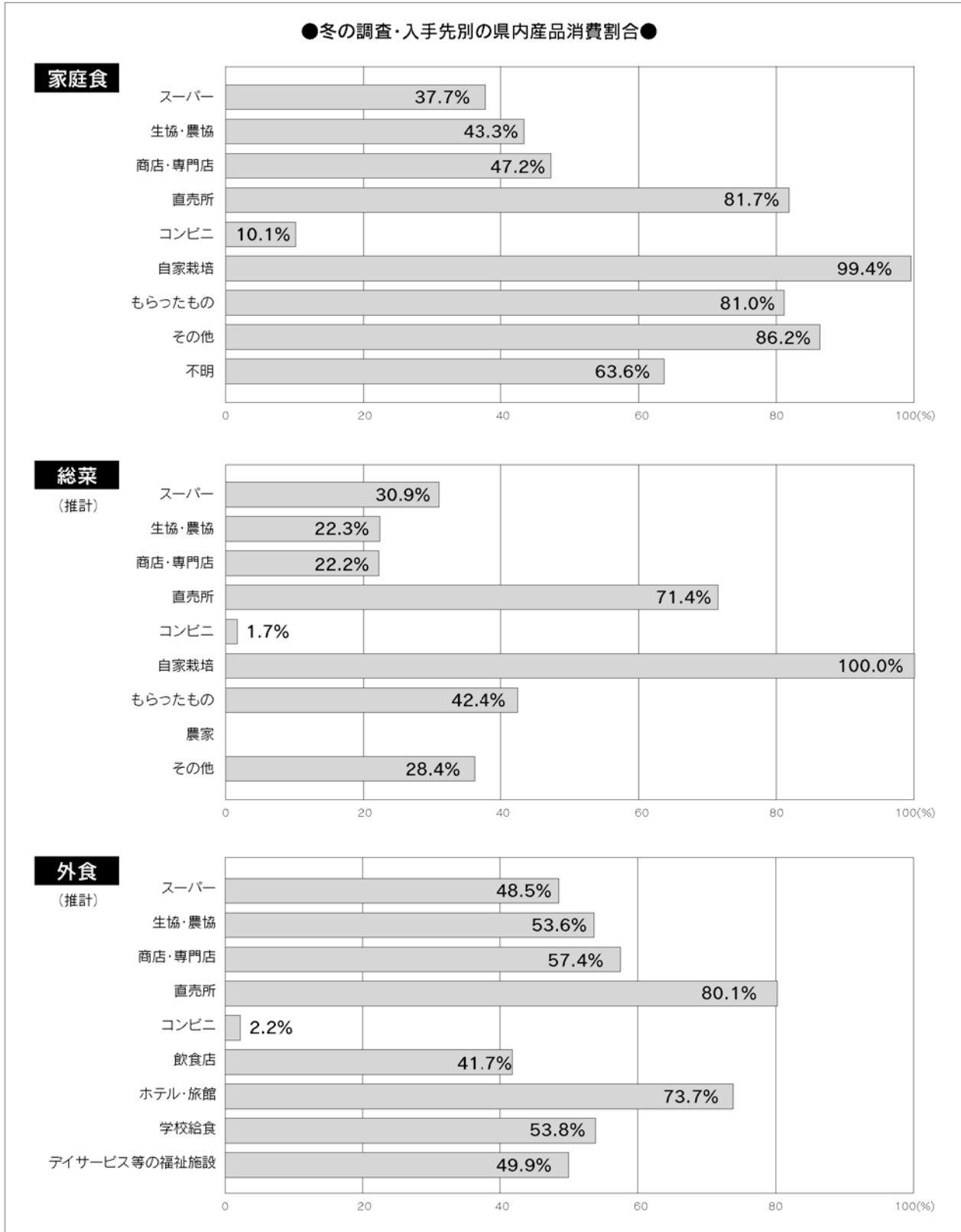
(ダイジェスト世帯・グラフ4)



③冬の調査

入手先別で県内産品消費割合を見てみると、家庭食、総菜、外食ともに購入による入手においては、「直売所」における入手で県内産品の割合が最も高い。総菜における入手でも似た傾向を示しているが、「生協・農協」、「商店・専門店」、「もらったもの」について、家庭食に比べて20ポイント近く低い。また、外食では、「ホテル・旅館」における入手で県内産品の割合が「直売所」に次いで高くなっている。

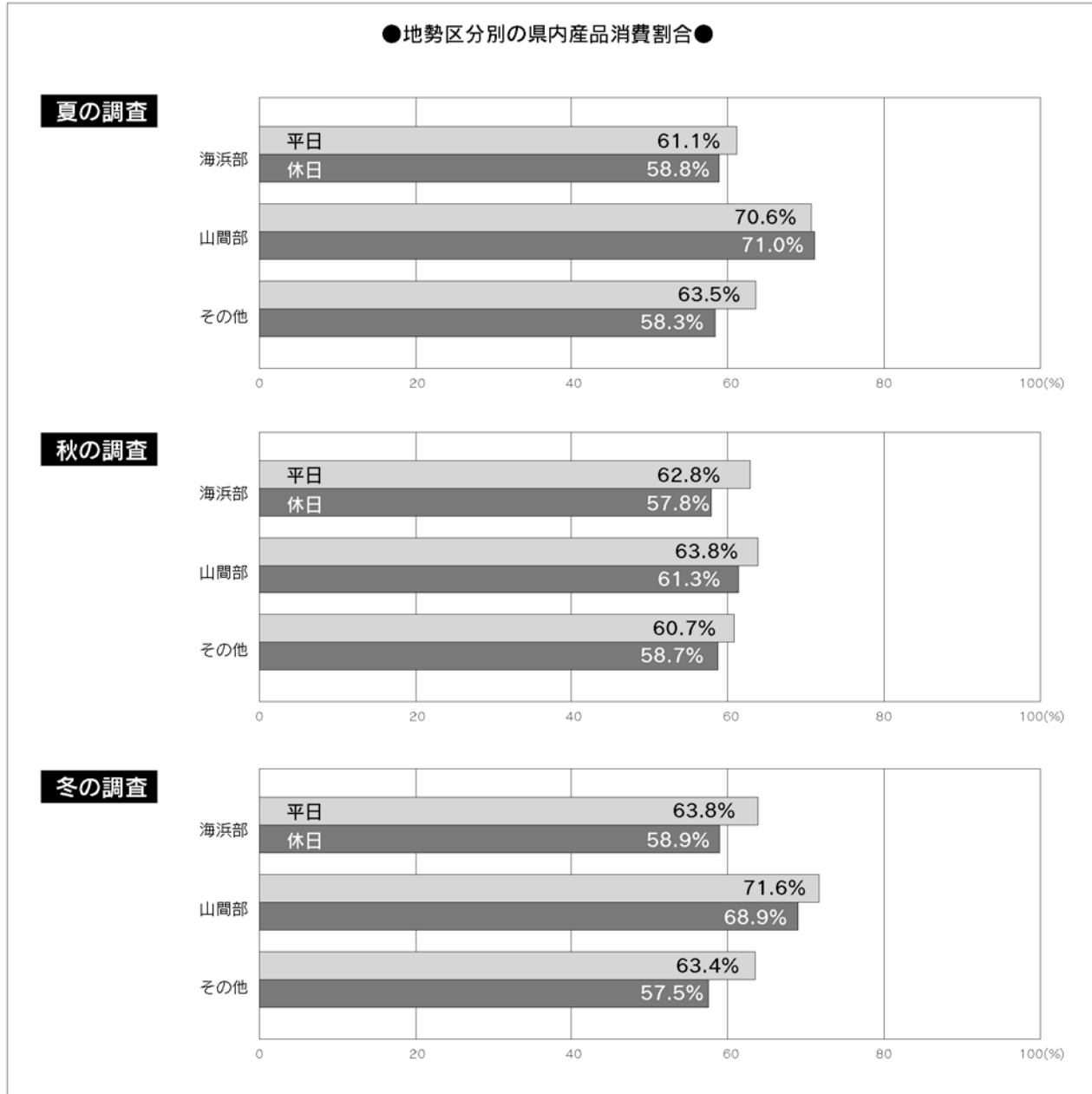
(ダイジェスト世帯・グラフ5)



4)地勢区分別の県内産品消費割合

家庭食における地勢区分別の県内産品消費割合は、秋の調査においては、際立った違いは見られませんが、夏と冬の調査では、「山間部」で若干高くなっている。

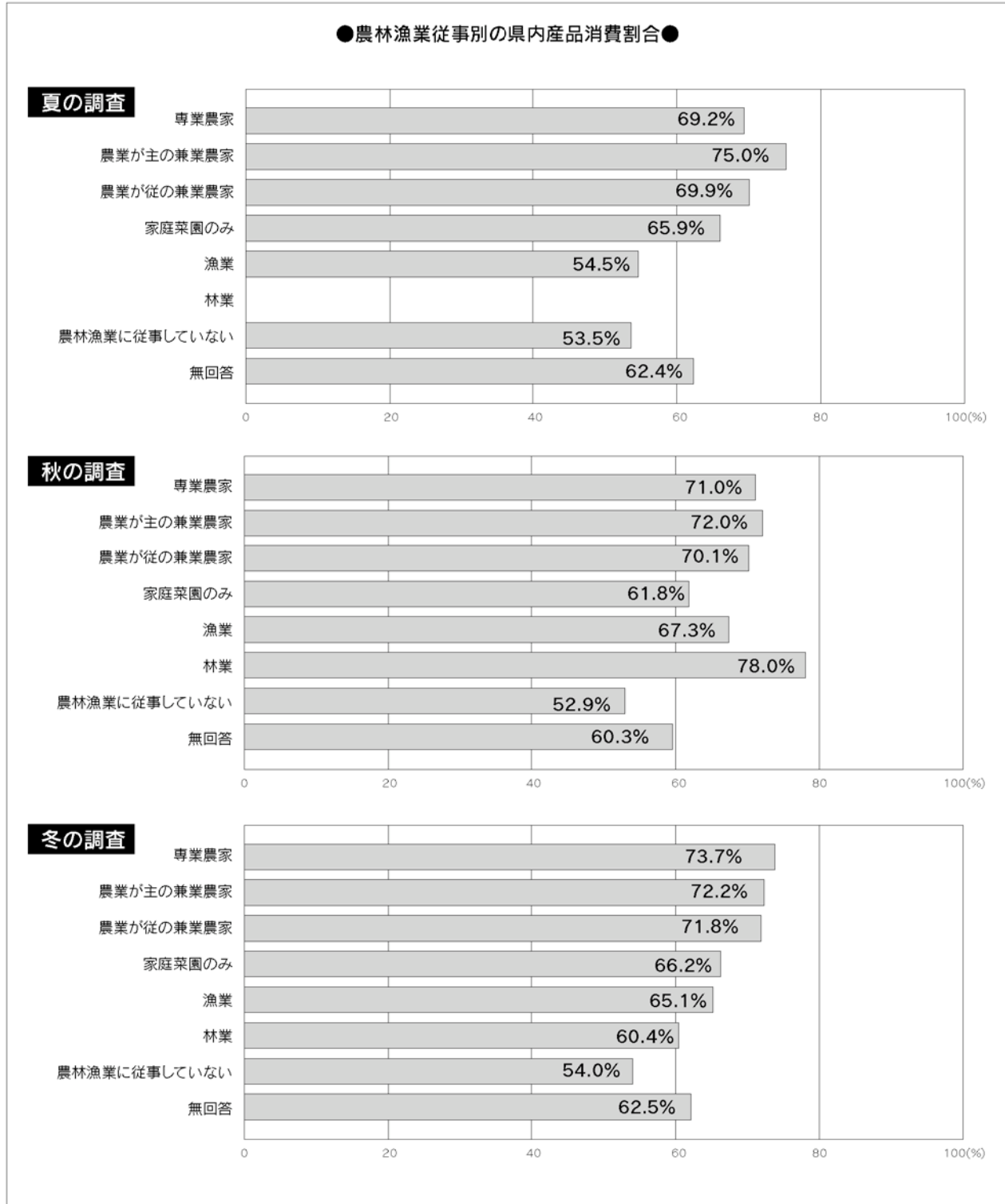
(ダイジェスト世帯・グラフ6)



5) 農林漁業従事別の県内産品消費割合

家庭食における農林漁業従事別の県内産品消費割合は、夏、秋、冬の調査とも農林漁業に従事していない世帯で低くなっている。

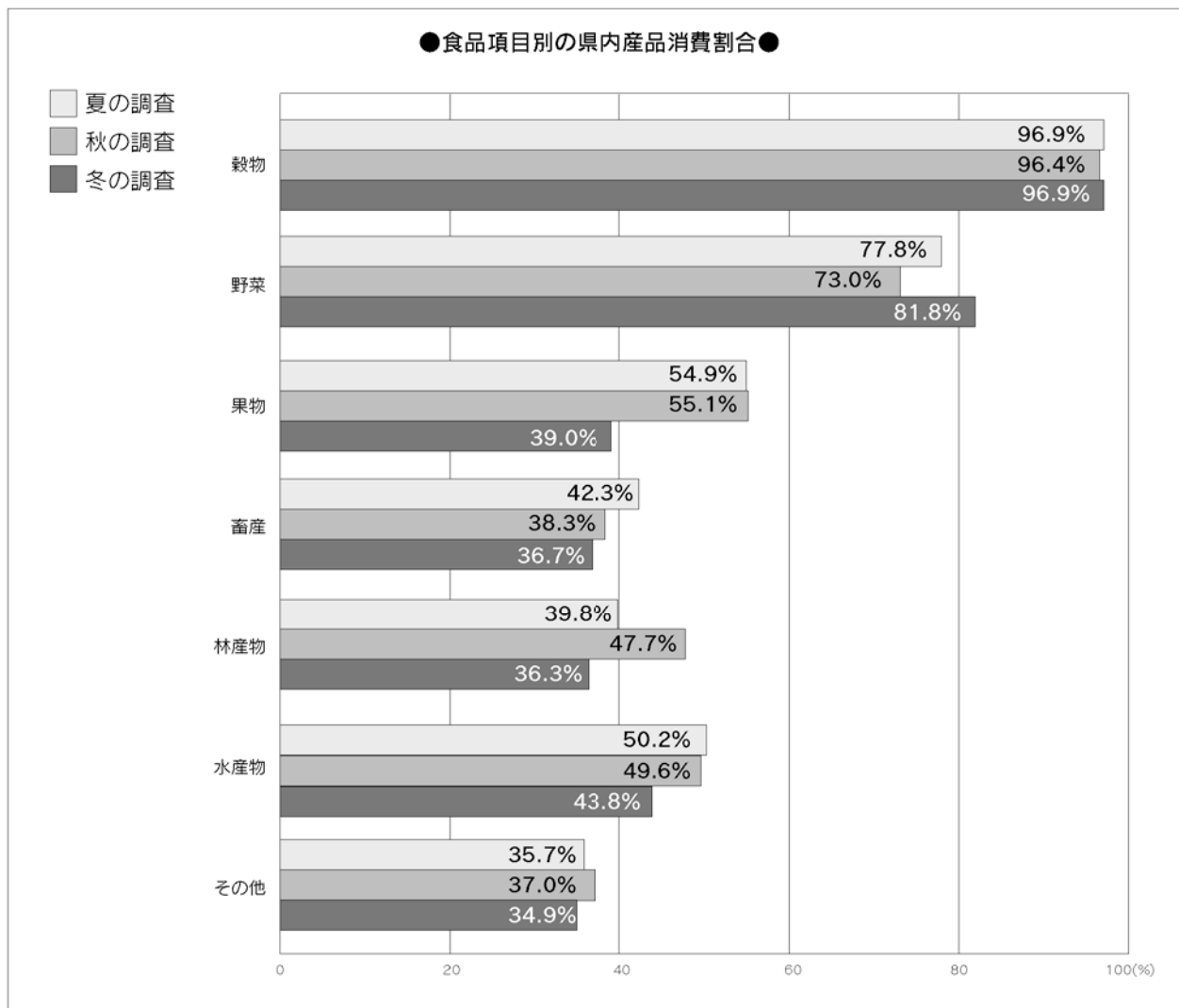
(ダイジェスト世帯・グラフ7)



6)食品項目別の県内産品消費割合

家庭食における食品項目別の県内産品消費割合は、夏、秋、冬の調査とも「穀物」が9割以上と最も高くなっている。「果物」、「畜産」、「林産物」、「水産物」は冬が最も低くなるのに対して、「野菜」は、冬が最も高くなっている。

(ダイジェスト世帯・グラフ8)

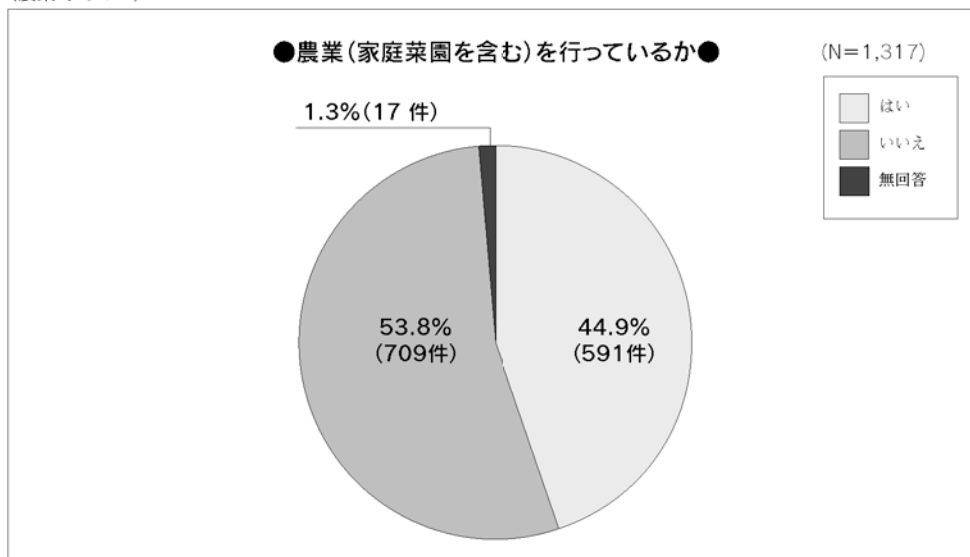


農業(家庭菜園を含む)アンケート

①農業(家庭菜園を含む)を行っているか

農業(家庭菜園を含む)を行っている家庭は44.9%で、ほぼ半数が何らかの農作物を作っている。

(農業・グラフ1)



②家庭菜園の面積

農業(家庭菜園を含む)を行っていると回答した人の家庭菜園の面積は、最大で19,830㎡、最小で0.15㎡、平均で370㎡となっている。

(農業・表6)

●家庭菜園の面積●

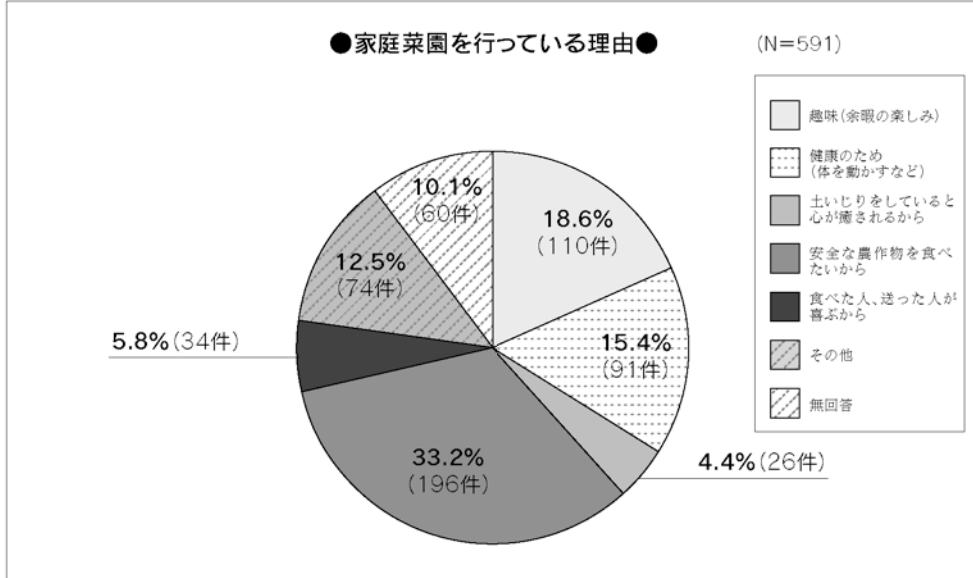
(N=518)

家庭菜園の面積(㎡)	191,445
最大面積(㎡)	19,830
最小面積(㎡)	0.15
平均面積(㎡)	370

③家庭菜園を行っている理由

家庭菜園を行っている理由は、「安全な農作物を食べたいから」が33.2%と最も高く、次いで、「趣味(余暇の楽しみ)」が18.6%、「健康のため(体を動かすなど)」が15.4%となっている。

(農業・グラフ3)



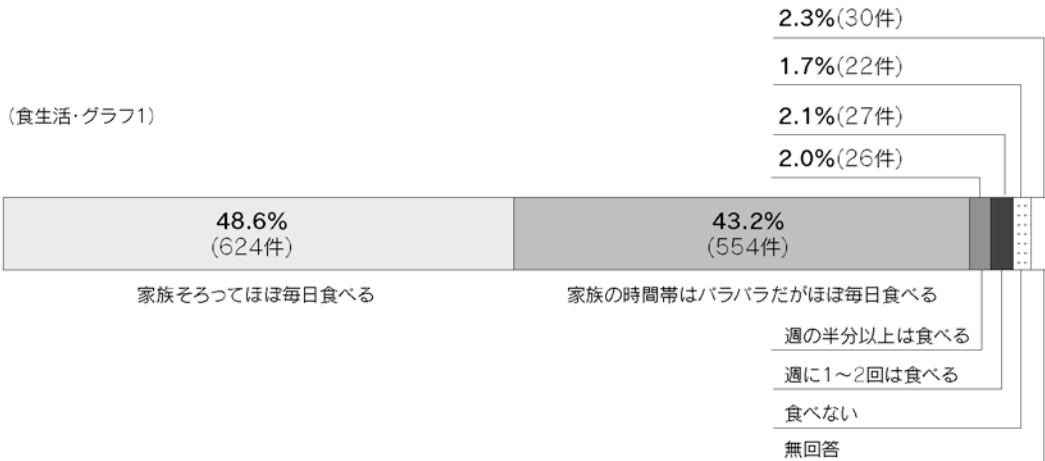
食生活に関するアンケート

1) 普段の食生活

①あなたの家庭では朝食を毎日食べているか

朝食を毎日食べているかでは、「家族そろってほぼ毎日食べる」が48.6%と最も高く、次いで「家族の時間帯はバラバラだがほぼ毎日食べる」が43.2%となっており、9割以上の家庭で朝食を毎日食べている。

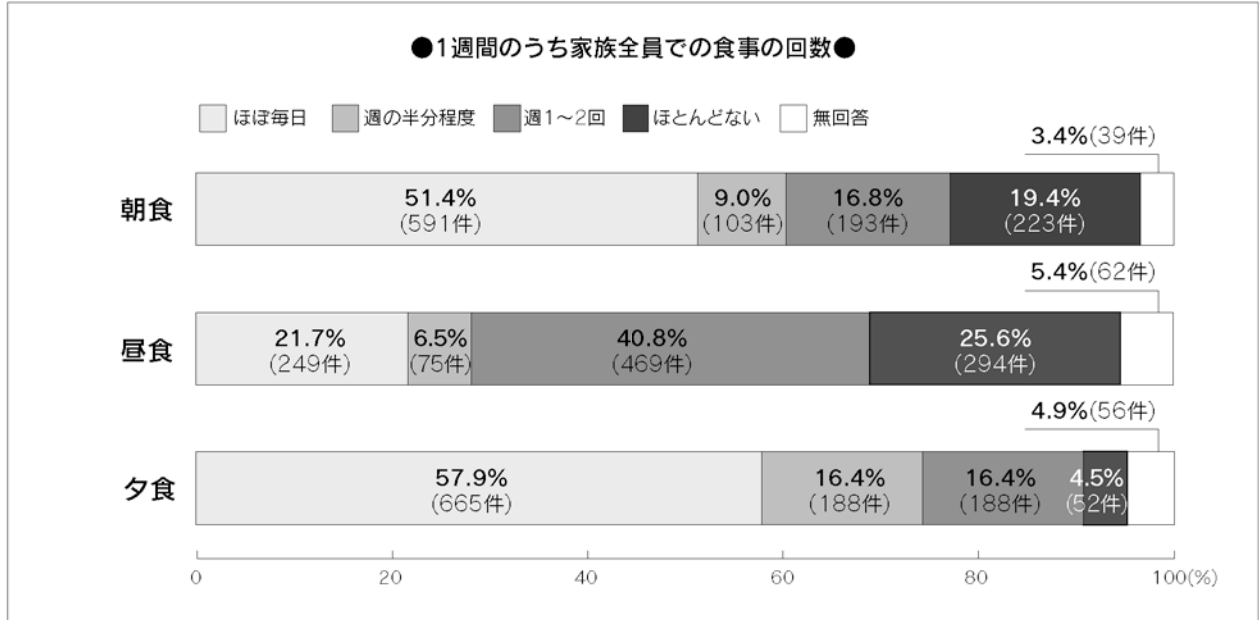
●朝食を毎日食べているか●



②あなたの家庭では、1週間のうち何回家族全員で食事をしているか。

1週間のうち何回家族で食事をしているかでは、朝食が「ほぼ毎日」が51.4%、夕食も「ほぼ毎日」が57.9%と最も高く、昼食では、「週に1～2回」が40.8%と最も高くなっている。

(食生活・グラフ3)

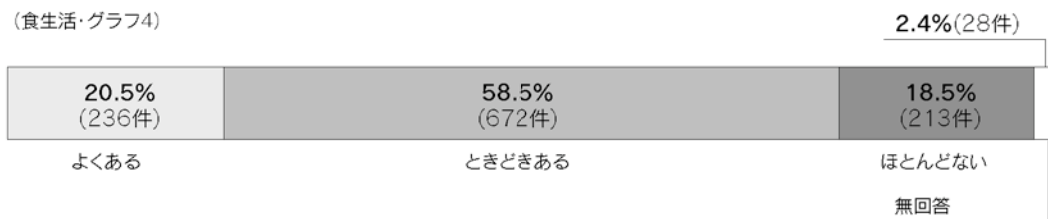


③あなたの家庭では、健康や食生活について話し合ったり考えたりするか。

健康や食生活について話し合ったり考えたりすることは、「よくある」20.5%、「ときどきある」58.5%を合わせて、約8割が「ある」と回答している。

●健康や食生活について話し合ったり、考えたりするか●

(食生活・グラフ4)

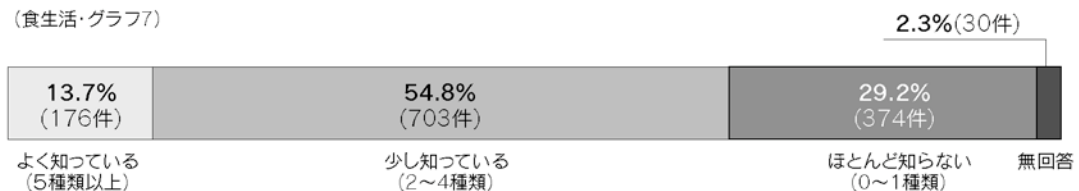


④あなたが住んでいる地域の農産物を使った郷土料理を知っているか。

郷土料理を知っているかでは、「少し知っている(2～4種類)」が54.8%と最も高く、次いで、「ほとんど知らない(0～1種類)」が29.2%となっている。

●郷土料理を知っているか●

(食生活・グラフ7)

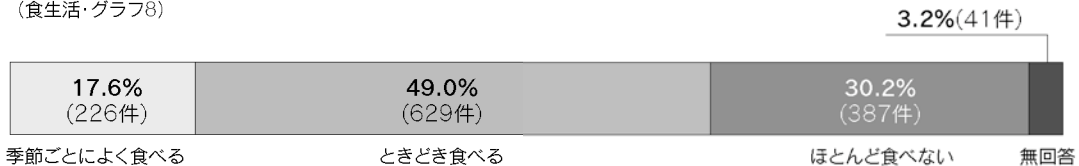


⑤あなたの家庭では、食事の中に郷土料理を取り入れて食べているか。

郷土料理を食べているかでは、「よく食べる」17.6%、「ときどき食べる」49.0%で、合わせて66.6%が郷土料理を何らか食べている。

●家庭の食事で郷土料理を食べているか●

(食生活・グラフ8)



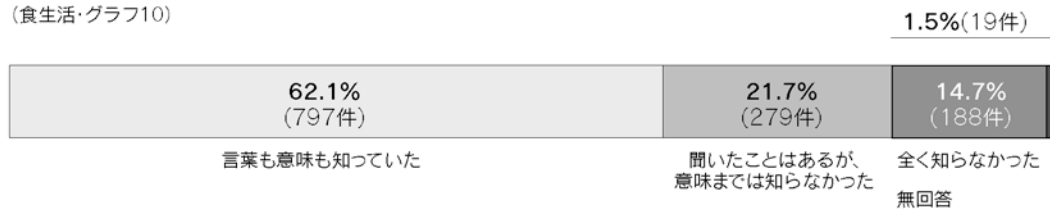
2) 地産地消

①以前から「地産地消」という言葉を知っていたか。

以前から「地産地消」という言葉を知っていたかでは、「言葉も意味も知っていた」が62.1%と最も高く、次いで、「聞いたことはあるが、意味までは知らなかった」が21.7%となっている。

●「地産地消」という言葉を知っていたか●

(食生活・グラフ10)

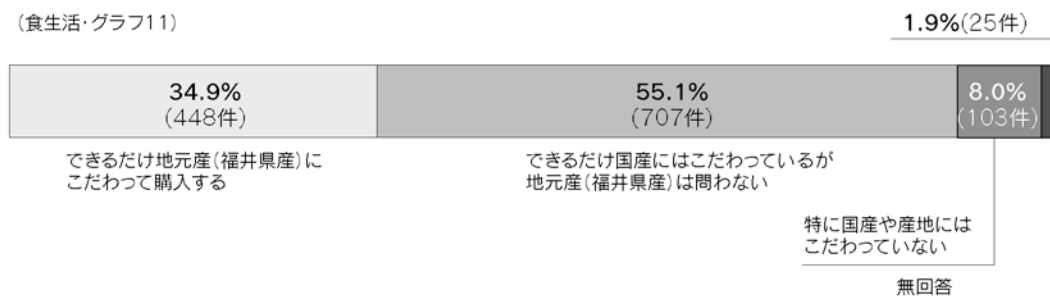


②あなたの家庭では、産地にこだわって食材を購入するか

産地にこだわって食材を購入するかでは、「できるだけ国産にはこだわっているが地元産(福井県産)は問わない」が55.1%と最も高く、次いで、「できるだけ地元産(福井県産)にこだわって購入する」が34.9%となっている。

●産地にこだわって食材を購入するか●

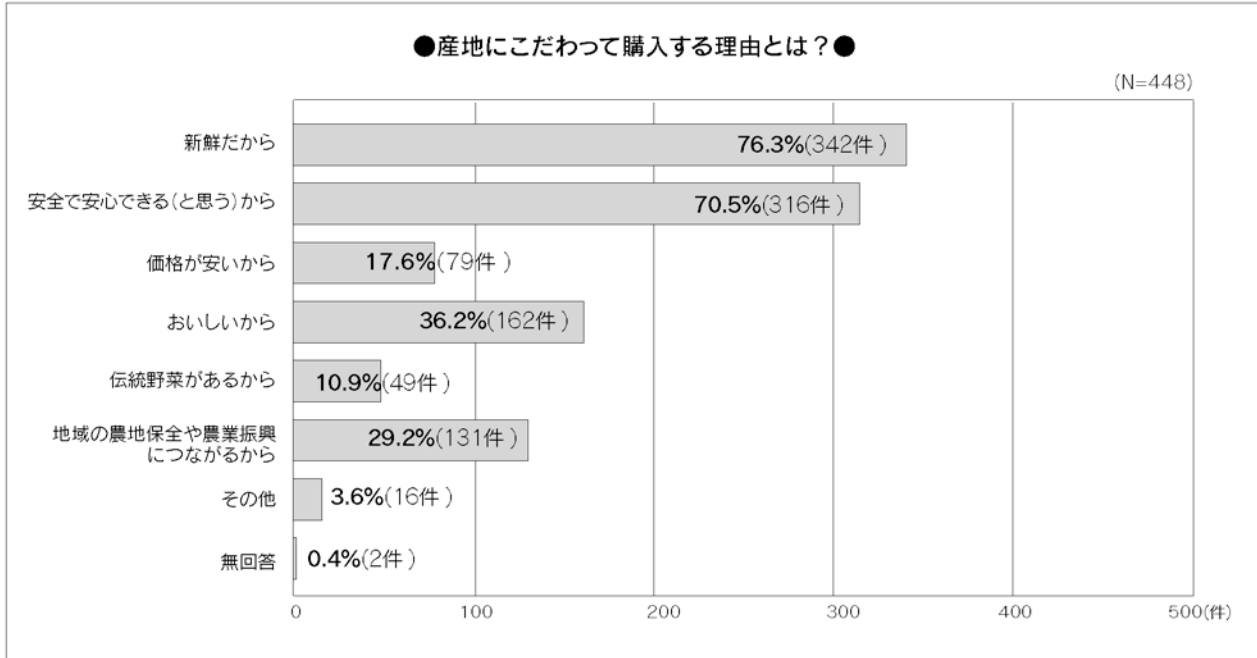
(食生活・グラフ11)



③(県内産にこだわって購入すると答えた人に)その理由は何か

福井県産を購入する理由では、「新鮮だから」が76.3%と最も高く、次いで、「安全で安心できる(と思う)から」が70.5%となっている。

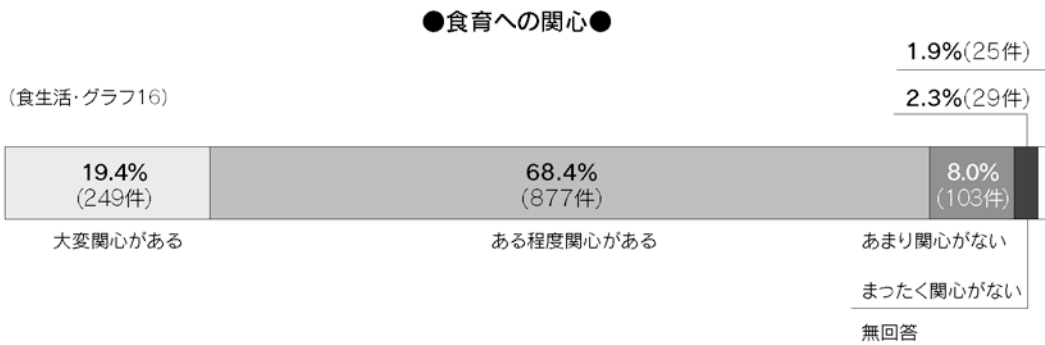
(食生活・グラフ12)



3)食育

①食育に関心があるか。

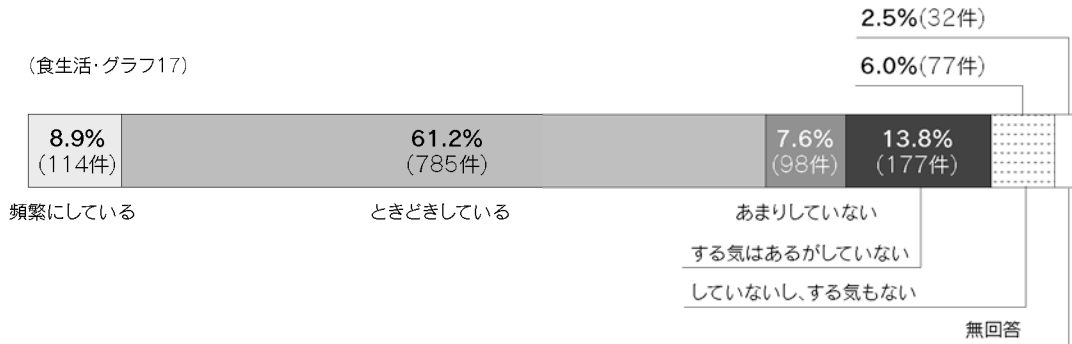
食育に関心があるかでは、「ある程度関心がある」が68.4%と最も高く、次いで「大変関心がある」が19.4%となっており、合わせて8割以上の世帯が「関心がある」と答えている。



②あなたの家庭では食育に関する活動や行動をしているか

食育に関する活動や行動をしているかでは、「ときどきしている」が61.2%と最も高く、「頻繁にしている」と合わせると70.1%が何らかの行動をしている。

●食育に関する活動や行動の有無●

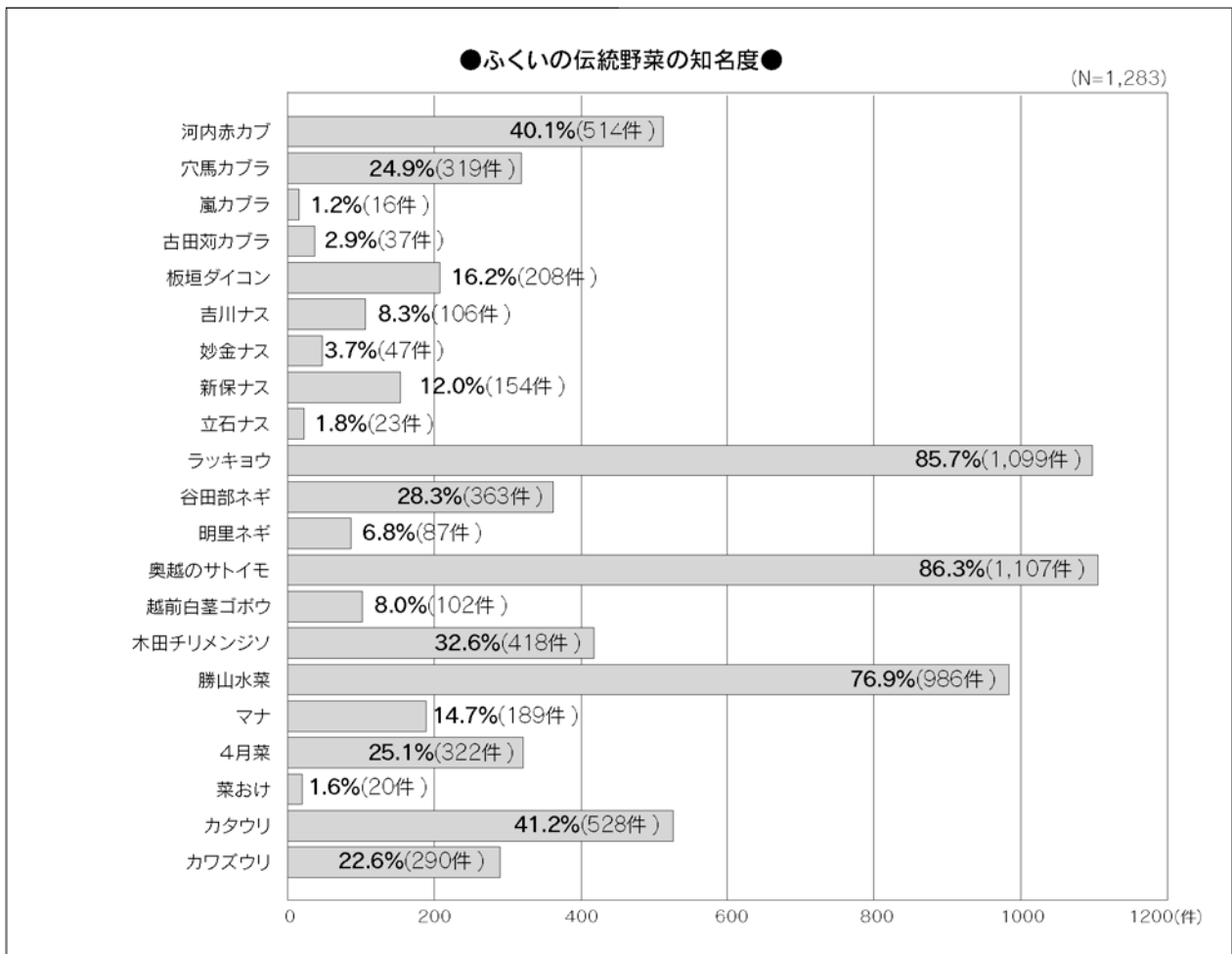


4) ふくいの伝統野菜

①ふくいの伝統野菜の知名度

ふくいの伝統野菜で知っているものは、「奥越のサトイモ」が86.3%と最も高く、次いで、「ラッキョウ」が85.7%、「勝山水菜」が76.9%となっている。

(食生活・グラフ20)



2.生産量調査

平成18年～平成20年に福井県内で生産された農林水産物の量を各種統計データを基に調査を行った。生産量の最も多いものは、「米」である。また、野菜で多いものは、「だいこん」、「ばれいしょ」、「さといも」などである。水産物では、「あじ類」、「ぶり類」、「さわら類」、「いか類」の漁獲量が多い。

●農林水産物の生産量と栽培面積

(流通・生産表1)

ジャンル	No	品目	平成20年		平成19年		平成18年		集計の前提条件
			生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	
穀物	1	米	141,800 t	26,800 ha	140,800 t	27,500 ha	144,500 t	28,000 ha	
	2	麦	16,300 t	4,650 ha	17,100 t	4,230 ha	12,400 t	4,100 ha	種類一六条大麦
	3	大豆	2,070 t	1,400 ha	1,410 t	1,340 ha	1,860 t	1,320 ha	
	4	そば	1,420 t	2,710 ha	1,610 t	2,400 ha	1,500 t	2,060 ha	
野菜	5	だいこん	7,560 t	305 ha	7,850 t	309 ha	8,320 t	312 ha	春+秋+冬
	6	にんじん	416 t	25 ha	317 t	19 ha	288 t	19 ha	冬のみ
	7	はくさい	1,450 t	77 ha	1,460 t	77 ha	1,540 t	78 ha	秋+冬
	8	キャベツ	1,830 t	81 ha	1,936 t	84 ha	1,880 t	82 ha	春+冬
	9	ほうれんそう	905 t	92 ha	930 t	93 ha	914 t	93 ha	
	10	ねぎ	1,190 t	61 ha	1,110 t	57 ha	971 t	57 ha	秋+冬
	11	なす	1,440 t	122 ha	1,440 t	122 ha	1,580 t	128 ha	夏+秋
	12	トマト	1,780 t	85 ha	1,940 t	87 ha	2,010 t	88 ha	
	13	きゅうり	1,260 t	68 ha	1,270 t	69 ha	1,280 t	70 ha	
	14	ピーマン	154 t	19 ha	161 t	20 ha	174 t	19 ha	夏+秋
	15	ばれいしょ	4,710 t	383 ha	4,880 t	389 ha	5,070 t	396 ha	
	16	さといも	3,410 t	277 ha	3,230 t	283 ha	3,450 t	293 ha	秋+冬
	17	たまねぎ	1,260 t	70 ha	1,300 t	70 ha	1,310 t	70 ha	
	18	すいか	4,850 t	198 ha	4,410 t	207 ha	4,900 t	217 ha	
	19	メロン	1,060 t	64 ha	1,020 t	64 ha	1,030 t	64 ha	
	20	らっきょう	-	-	-	-	846	127 ha	
	21	かぶ	-	-	912 t	53 ha	-	-	
	22	ごぼう	-	-	123 t	15 ha	-	-	
	23	ブロッコリー	-	-	349 t	57 ha	-	-	
	24	レタス	-	-	235 t	-	-	-	
25	かぼちゃ	601 t	67 ha	578 t	66 ha	535 t	67 ha		
26	スイートコーン	-	-	120 t	37 ha	-	-		
27	さやいんげん	-	-	251 t	52 ha	-	-		
28	さやえんどう	-	-	83 t	17 ha	-	-		
29	えだまめ	-	-	89 t	43 ha	-	-		
果物	30	梅	1,420 t	498 ha	2,270 t	498 ha	2,100 t	499 ha	
	31	柿	864 t	140 ha	780 t	140 ha	741 t	142 ha	
	32	梨	1,500 t	71 ha	1,410 t	71 ha	1,410 t	71 ha	
	33	みかん	-	-	-	-	-	-	(参考H16) 93t 27ha
	34	ぶどう	-	-	-	-	-	-	(参考H16) 51t 12ha
	35	もも	-	-	-	-	-	-	(参考H16) 14t 5ha
	36	くり	-	-	-	-	-	-	(参考H16) 65t 91ha
	37	キウイ	-	-	-	-	-	-	(参考H16) 22t 5ha
畜産物	38	牛肉	-	-	-	2,395 頭	-	2,465 頭	(肉畜種類別出荷頭数)
	39	豚肉	-	-	-	9,672 頭	-	8,930 頭	(肉畜種類別出荷頭数)
	40	鶏肉	-	-	1,956 t	-	1,947 t	-	(出荷量の生体重量)
	41	牛乳	-	-	11,782 kl	-	14,805 kl	-	(飲用牛乳等の生産量)
	42	鶏卵	-	-	8,577 t	-	9,106 t	-	(出荷量)
林産物	43	しいたけ	323 t	-	338 t	-	302 t	-	
	44	なめこ	91 t	-	87 t	-	91 t	-	
	45	ひらたけ	72 t	-	73 t	-	75 t	-	
	46	えのき	373 t	-	408 t	-	417 t	-	
水産物	47	あじ類	-	-	2,320 t	-	2,156 t	-	(漁獲量) まあじ・むろあじを含む
	48	ぶり類	-	-	2,011 t	-	1,331 t	-	
	49	かれい類	-	-	1,344 t	-	1,167 t	-	(漁獲量) あかかれい・そうはち・ひれぐろ・まがれい等を含む
	50	さわら類	-	-	2,172 t	-	1,343 t	-	(漁獲量)
	51	さば類	-	-	272 t	-	634 t	-	(漁獲量)
	52	するめいか	-	-	1,672 t	-	2,437 t	-	(漁獲量) (いか類に含まれている。)
	53	いか類	-	-	2,728 t	-	3,560 t	-	(漁獲量) するめいか・こういか・あおいか・ほたるいか・やしかを含む
	54	えび類	-	-	482 t	-	502 t	-	(漁獲量) いせ・くるま・ほつこくあかえびを含む。
	55	とびうお	-	-	-	-	441 t	-	(漁獲量)
	56	貝	-	-	431 t	-	424 t	-	(漁獲量) あわび・サザエ・はまくり・あざり・ほたて・うばいかを含む。
	57	はたはた	-	-	86 t	-	443 t	-	(漁獲量)
	58	たい類	-	-	329 t	-	373 t	-	(漁獲量)
	59	ずわいがに	-	-	589 t	-	631 t	-	(漁獲量)
	60	ふぐ類	-	-	87 t	-	55 t	-	(漁獲量)

出典：福井農林水産統計年報(福井農林統計協会(福井農政事務所統計部))等を参照

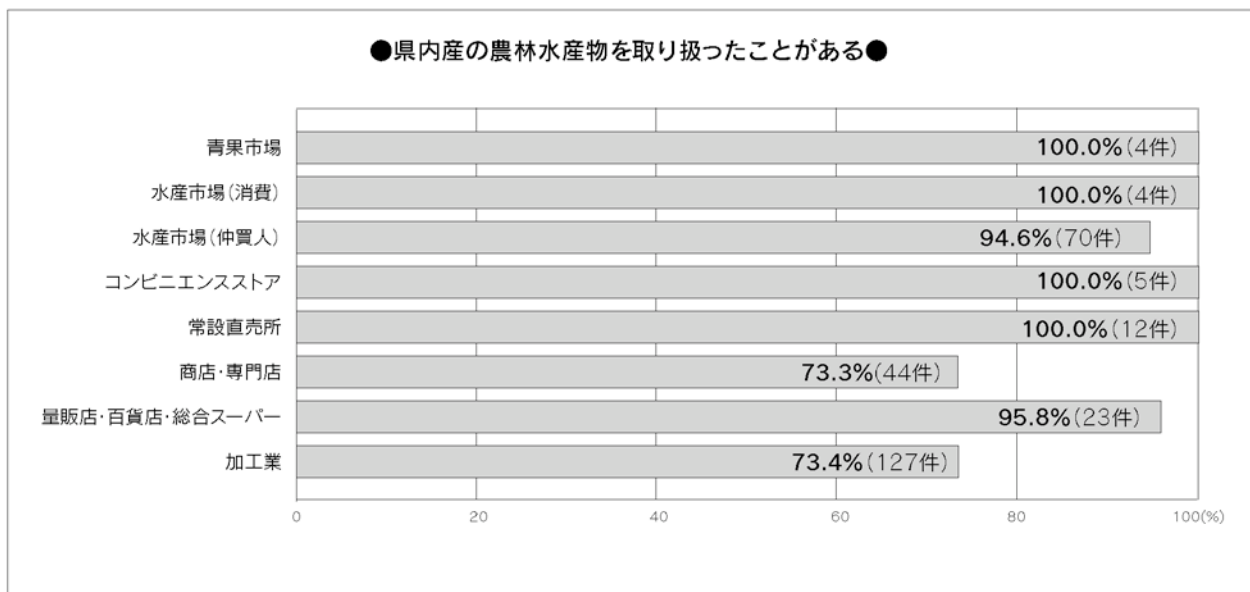
3.流通・加工調査

1)地産地消に関するアンケート

①県内産の農林水産物を扱って(扱ったことがある)いるか

県内産の農林水産物を扱って(扱ったことがある)いるかを業種ごとで見ると、商店・専門店、加工業では7割程度の取扱いに対し、その他は9割以上が取扱いをしている。

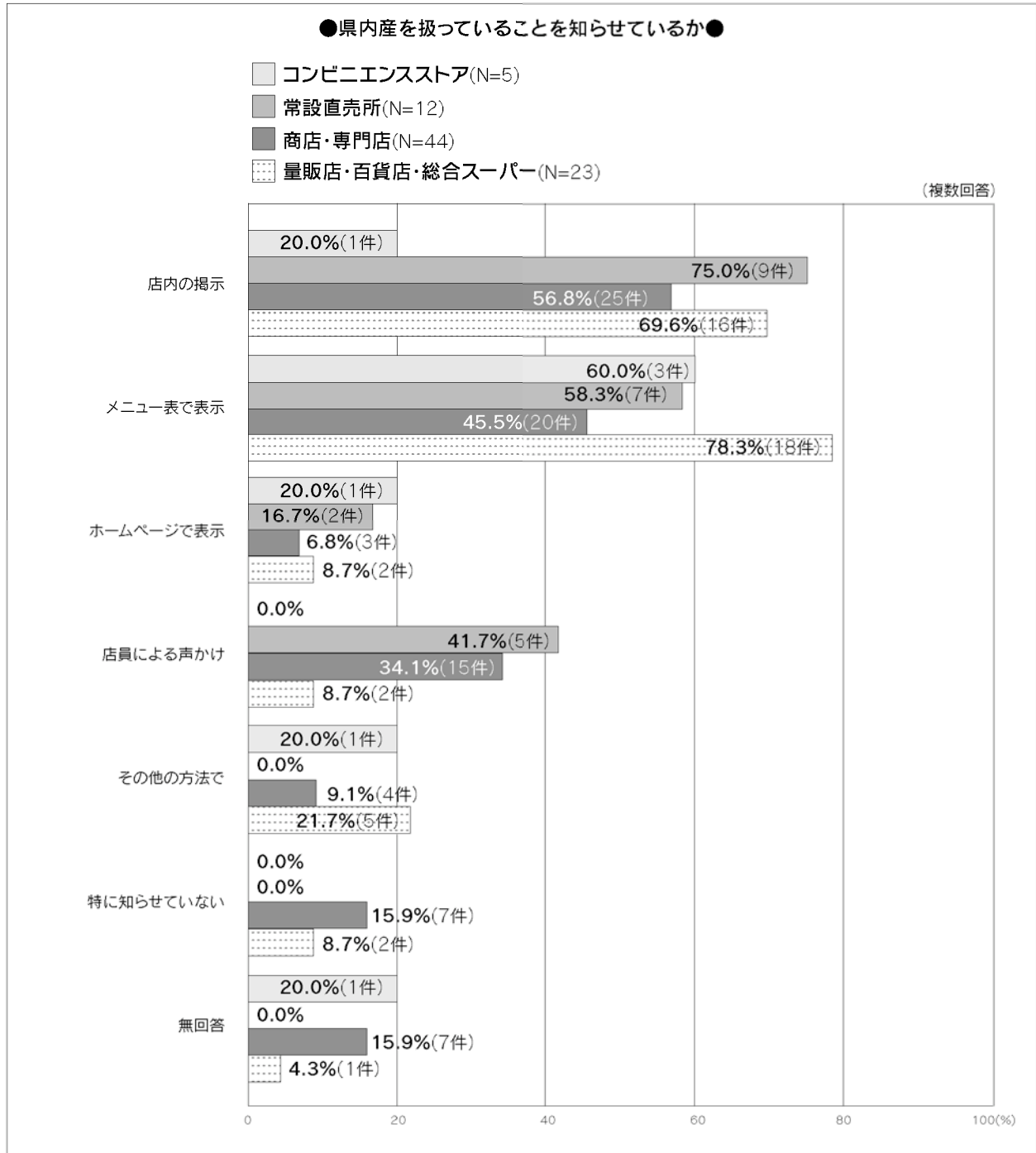
(ダイジェスト流通・グラフ1)



②県内産の農林水産物を扱っていることをお客さんに知らせているか

県内産の農林水産物を扱っていることを業種別でみると、「店内の表示」で知らせている割合は、常設直売所、量販店・百貨店・総合スーパー（以下「量販店等」と記す）で高く、「メニュー表で表示」で知らせているのは量販店等、コンビニエンスストアで高くなっている。また、「店員による声かけ」は常設直売所、商店・専門店が高くなっている。

(ダイジェスト流通・グラフ2)



③各項目において、県内農林水産物を納入している生産者や業者と意見交換をしているか

業種ごとでみると、「生産量」、「品質の向上」、「価格」については意見交換している割合が高いのは青果市場である。「農作物の育成」と回答した割合は常設直売所が高く、「価格」と回答したのは加工業で高くなっている。逆に、「意見交換していない」と回答した割合はコンビニエンスストアで高くなっている。

(ダイジェスト流通・グラフ3)

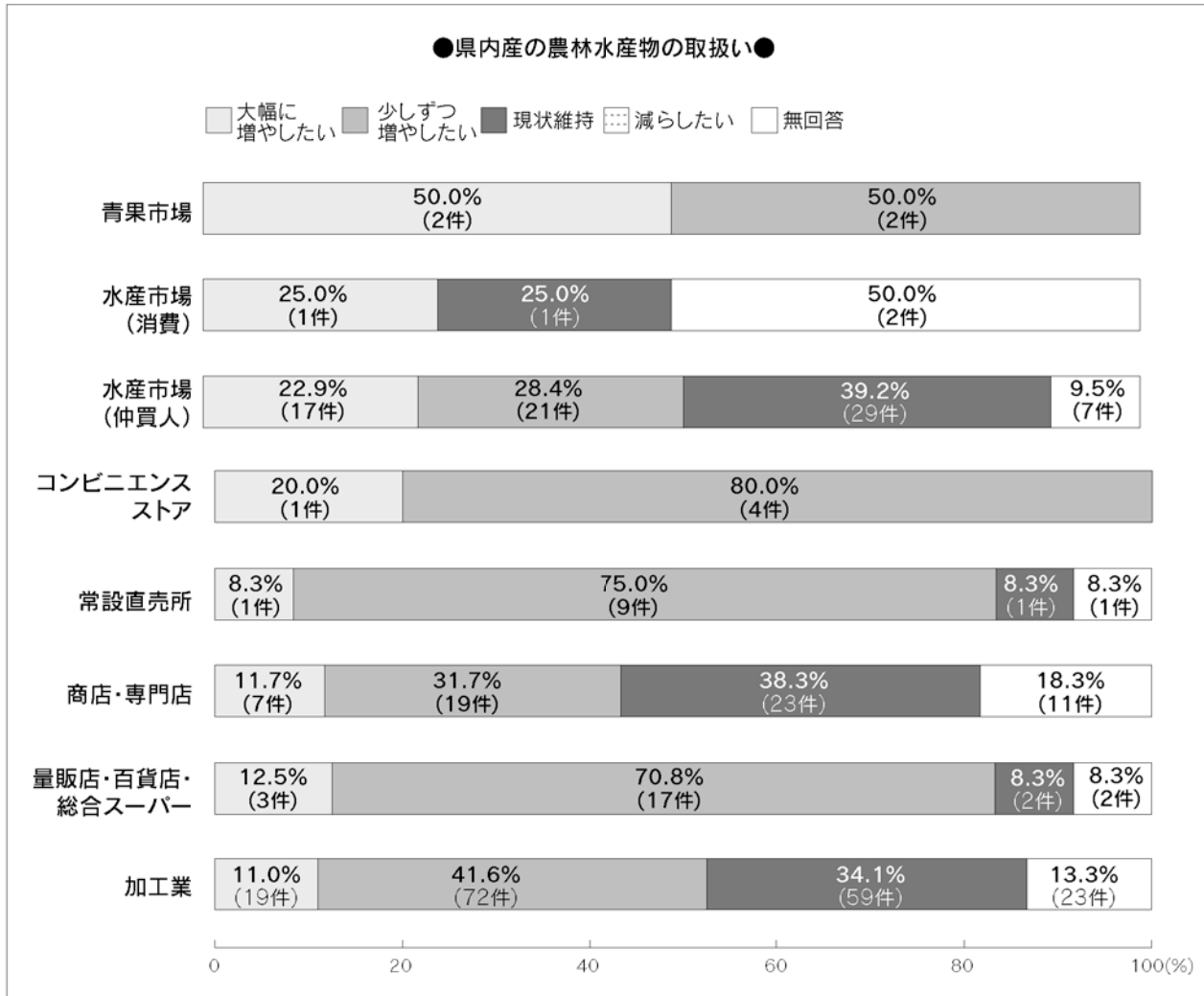
(複数回答)



④県内産の農林水産物の取扱いを増やしていきたいか

県内産の農林水産物の取扱いを増やしていきたいかを業種ごとでみると、「大幅に増やしたい」と回答した割合は、青果市場で高く、「少しずつ増やしたい」と回答したのはコンビニエンスストア、常設直売所、量販店等で高くなっており、ほとんどの業種で今後取扱いを増やしていきたいと考えている。

(ダイジェスト流通・グラフ4)



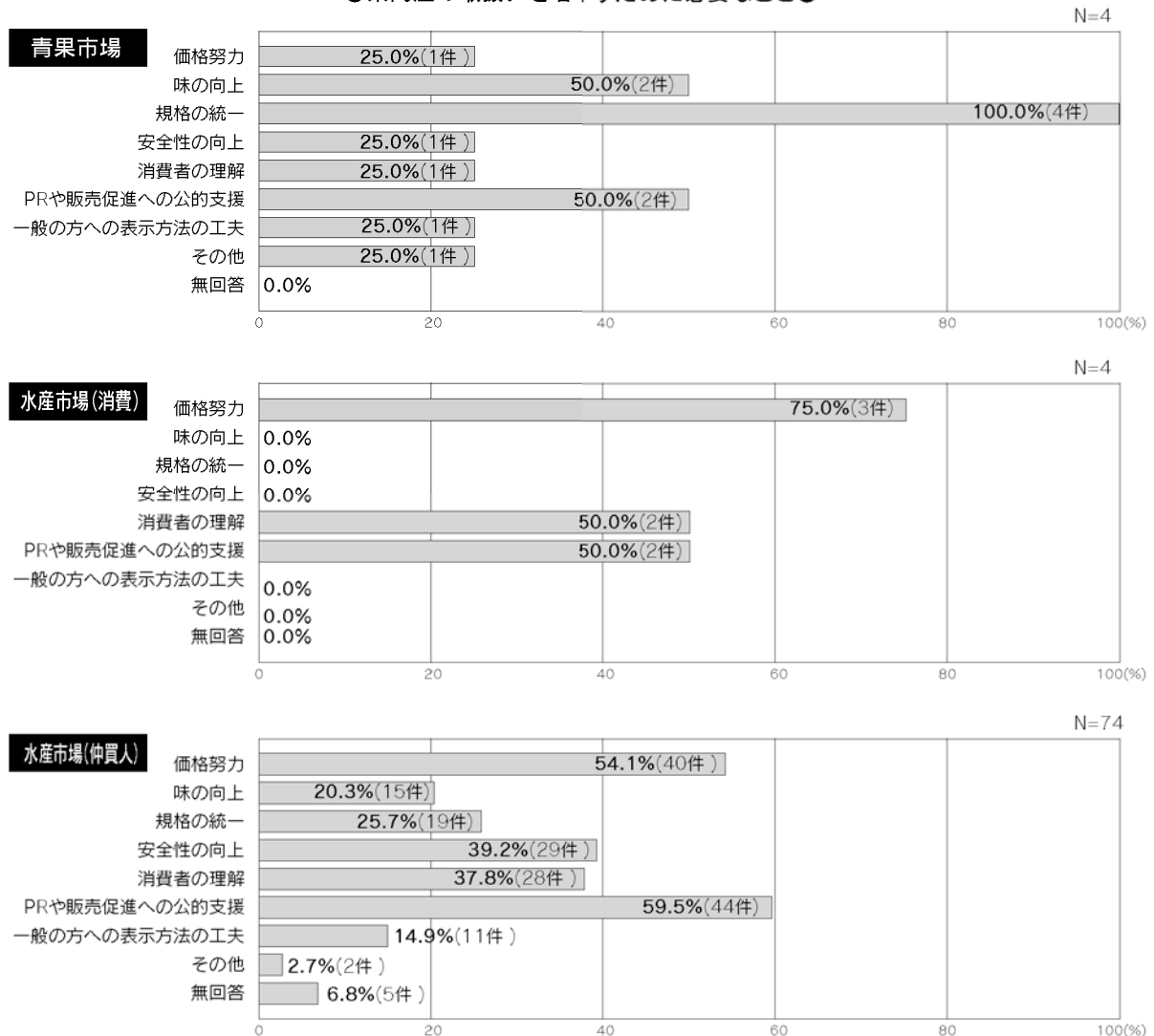
⑤県内産の水産物の取扱いを増やしていくために必要なこと

県内産の農林水産物の取扱いを増やしていくために必要なことを、業種ごとでみると、「価格努力」と回答した割合が高いのは水産市場(消費)、コンビニエンスストア、商店・専門店、量販店等、加工業である。また、「PRや販売促進への公的支援」と回答した割合が高いのは、水産市場(仲買人)、常設直売所である。

(ダイジェスト流通・グラフ5)

(複数回答)

●県内産の取扱いを増やすために必要なこと●



(ダイジェスト流通・グラフ6)

(複数回答)

● 県内産の取扱いを増やすために必要なこと ●



2)仕入量と出荷先

①JA経済連

全体での県内向け出荷は40.5%に対し、県外向けは59.5%となっており、県外向けが半数を超えている。

穀物では、「米」の県内向け出荷は35.3%に対し、県外向けは64.7%となっている。麦は県外向け出荷が100%となっている。

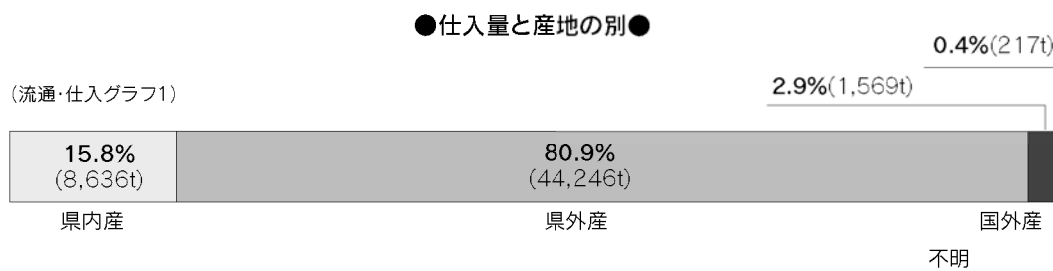
野菜で取扱が多いものは、だいこん、すいか、さといも、トマト、ねぎである。果樹で取扱が多いものは、梅、梨である。また、林産物で取扱が多いものは、えのきである。

畜産関係では「牛肉」の県内向け出荷は65.9%、「豚肉」は97.8%、「牛乳」は71.5%、「鶏卵」は100%となっている。

②青果市場

1年間の農林水産物の仕入量における県内産の割合は、15.8%である。県内産の仕入が5割を超えるものものは、野菜のうち、「さといも」、「かぶ」、「らっきょう」「すいか」である。果物では「梅」、「なし」、林産物では「なめこ」、「えのきだけ」である。

出荷は、ほぼ全量が県内向けである。



③水産市場(産地)

取扱高が多いものは、「あじ類」、「ぶり類」、「かれい類」、「さわら類」、「するめいか」などである。

●1年間の水産物の取扱高[水産市場(産地)]

(流通・表3)

(単位:kg)

ジャンル	No	品目	合計	福井県漁連					漁連計	越前町漁協	河野村漁協	若狭高浜漁協
				三国	越廼	敦賀	早瀬	小浜		越前	河野	高浜
水産物	47	あじ類	1,402,386	1,668	161,259	370,446	132,843	171,892	838,108	283,000	71,278	210,000
	48	ぶり類	2,905,414	1,492	210,748	788,290	438,913	241,360	1,680,802	727,000	427,612	70,000
	49	かれい類	2,042,020	111,607	17,224	192,502	32,824	310,640	664,797	1,345,000	5,223	27,000
	50	さわら類	1,759,866	4	62,797	545,340	297,779	323,034	1,228,954	187,000	202,912	141,000
	51	さば類	230,208	124	41,012	42,689	18,999	27,341	130,165	70,000	10,043	20,000
	52	するめいか	1,142,008	43,030	72,425	455,742	4,654	14,939	590,789	551,000	219	0
	53	いか類	505,926	3,050	5,327	82,626	21,234	44,178	156,415	287,000	13,511	49,000
	54	えび類	458,623	291,023	8	100,539	2,045	8,933	402,548	56,000	75	0
	55	とびうお	498,577	36	4,657	120,560	105,917	97,666	328,836	89,000	31,741	49,000
	56	貝	416,127	13,044	89	104,774	31,046	163,173	312,127	92,000	0	12,000
	57	はたはた	587,026	32,345	0	42,611	9,640	76,431	161,026	426,000	0	0
	58	たい類	427,123	12,064	19,786	146,619	18,701	229,953	427,123	0	0	0
	59	ずわいかにか	495,603	127,198	0	184,891	9,521	21,993	343,603	152,000	0	0
	60	ぶく類	151,514	55	1,337	104,208	12,765	10,842	129,208	7,000	15,306	0
その他	61	その他	3,180,216	104,708	72,908	557,246	263,853	507,225	1,505,941	760,000	663,275	251,000
		合計	16,202,637	741,448	669,577	3,839,083	1,400,735	2,249,600	8,900,442	5,032,000	1,441,195	829,000

④水産市場(消費)

1年間の水産物の仕入量における県内産の割合は、30.8%である。県内産の仕入割合が高いものは、「かれい類」、「さわら類」、「とびうお」、「ふぐ類」である。

出荷で県内向け割合が9割を超えるものは、「かれい類」、「さば類」、「いか類」、「えび類」、「貝」、「はたはた」、「たい類」、「ずわいがに」である。

●仕入量と産地の別●

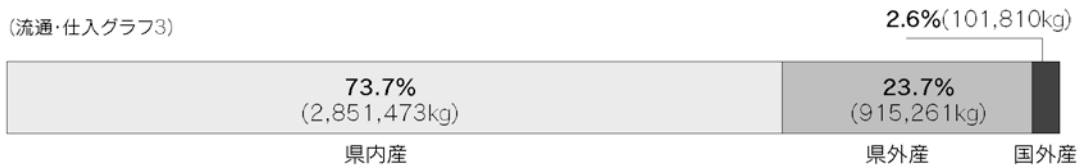


⑤水産市場(仲買人)

1年間の水産物の仕入量における県内産の割合は、73.7%である。県内産の仕入割合が高いものは、「あじ類」、「かれい類」、「するめいか」、「いか類」、「とびうお」、「ふぐ類」である。

出荷で県内向け割合が高いものは、「ずわいがに」の79.9%である。

●仕入量と産地の別●



⑥コンビニエンスストア(推計値)

1年間の農林水産物の仕入量における県内産の割合は、2.0%である。品目別では「らっきょう」が20.2%と高い仕入率となっている。

●仕入量と産地の別●

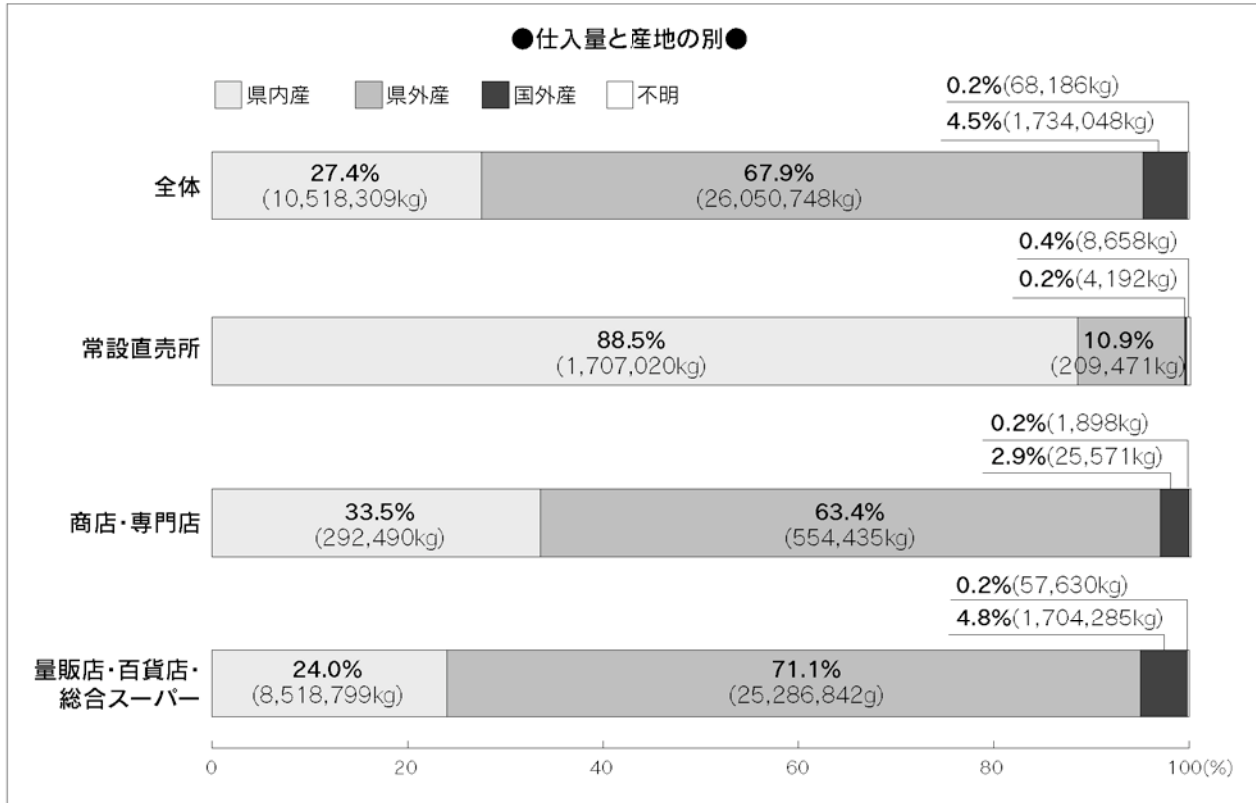


⑦小売業(商店・量販店)

1年間の農林水産物の仕入量における県内産の割合は27.4%である。業種別でみると、常設直売所が88.5%、商店・専門店が33.5%、量販店等は24.0%となっている。

全体での県内産の仕入割合が高い主要品目は、「米」、「さといも」、「らっきょう」、「かぶ」、「梅」、「ひらたけ」などである。

(流通・仕入グラフ5)

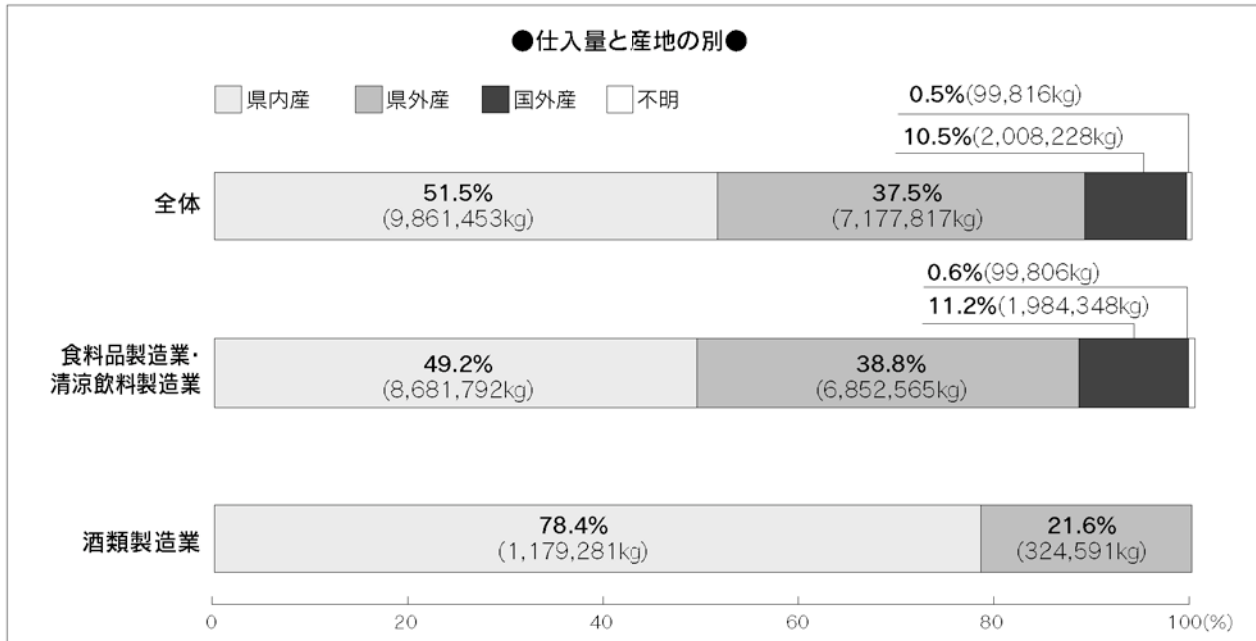


⑧加工業

1年間の農林水産物の仕入量における県内産の割合は51.5%である。業種別で見ると、食料品製造業・清涼飲料製造業が49.2%、酒類製造業が78.4%となっている。

全体での県内産の仕入割合が高い主要品目は、「米」、「さといも」、「らっきょう」、「梅」、「柿」、「牛乳」、「鶏卵」、「ぶり類」、「さわら類」、「とびうお」などである。

(流通・仕入グラフ6)



●仕入重量と廃棄量

食料品製造業・清涼飲料製造業の農林水産物の廃棄率は2.6% (回答件数67件)となっている。また、酒類製造業での農林水産物の廃棄率は0.1% (回答件数7件)となっている。

(流通・廃棄2)

	農林水産物の仕入重量 (kg)	廃棄量 (kg)	廃棄量 (%)	回答件数
食料品製造業・清涼飲料製造業	26,297,110	687,267	2.6%	67
酒類製造業	603,577	418	0.1%	7

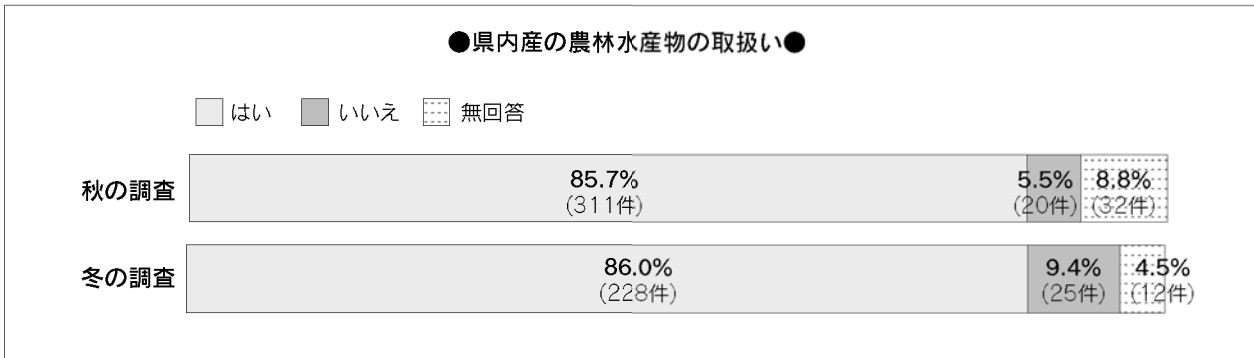
4. 飲食店・病院福祉施設調査

1) 地産地消に関するアンケート

① 県内産の農林水産物を扱って(扱ったことがある)いるか

秋、冬の調査ともに飲食店、病院・福祉施設の8割以上が県内産の農林水産物を扱って(扱ったことがある)いると回答している。

(ダイジェスト飲食・グラフ1)



秋の調査では、種別でみると、農林水産物を扱って(扱ったことがある)いると回答した割合は、病院・福祉施設で高くなっているが、冬の調査では、際立った違いはみられない。

(飲食アンケート2)

秋の調査			県内産の農林水産物の取扱い			
			合計	はい	いいえ	無回答
種別	全体	件数	363	311	20	32
		%	100.0	85.7	5.5	8.8
	飲食店	件数	260	219	14	27
		%	100.0	84.2	5.4	10.4
	旅館・ホテル	件数	51	43	3	5
		%	100.0	84.3	5.9	9.8
	病院・福祉施設	件数	52	49	3	0
		%	100.0	94.2	5.8	0.0

(飲食アンケート12)

冬の調査			県内産の農林水産物の取扱い			
			合計	はい	いいえ	無回答
種別	全体	件数	265	228	25	12
		%	100.0	86.0	9.4	4.5
	飲食店	件数	184	161	19	4
		%	100.0	87.5	10.3	2.2
	旅館・ホテル	件数	46	37	3	6
		%	100.0	80.4	6.5	13.0
	病院・福祉施設	件数	35	30	3	2
		%	100.0	85.7	8.6	5.7

②県内産の農林水産物を扱っていることを利用者に知らせているか

秋、冬の調査ともに、「特に知らせていない」と回答した割合が最も高く、次いで、「店員による声かけ」となっている。

業種別で見ると、県内産の農林水産物を扱っていることを、「店員による声かけ」、「ホームページで表示」と回答した割合は旅館・ホテルで高くなっている。また、「特に知らせていない」と回答した割合は、病院・福祉施設で非常に高くなっている。

(飲食アンケート4)

(複数回答)

秋の調査		県内産を扱っていることを知らせているか								
		合計	店内の掲示	メニュー表で表示	ホームページで表示	店員による声かけ	その他の方法で	特に知らせていない	無回答	
業種別	全体	件数	311	48	37	18	66	19	184	2
		%	100.0	15.4	11.9	5.8	21.2	6.1	59.2	0.6
	飲食店	件数	219	40	31	9	44	10	128	1
		%	100.0	18.3	14.2	4.1	20.1	4.6	58.4	0.5
	旅館・ホテル	件数	43	7	4	9	17	5	18	0
		%	100.0	16.3	9.3	20.9	39.5	11.6	41.9	0.0
	病院・福祉施設	件数	49	1	2	0	5	4	38	1
		%	100.0	2.0	4.1	0.0	10.2	8.2	77.6	2.0

(飲食アンケート14)

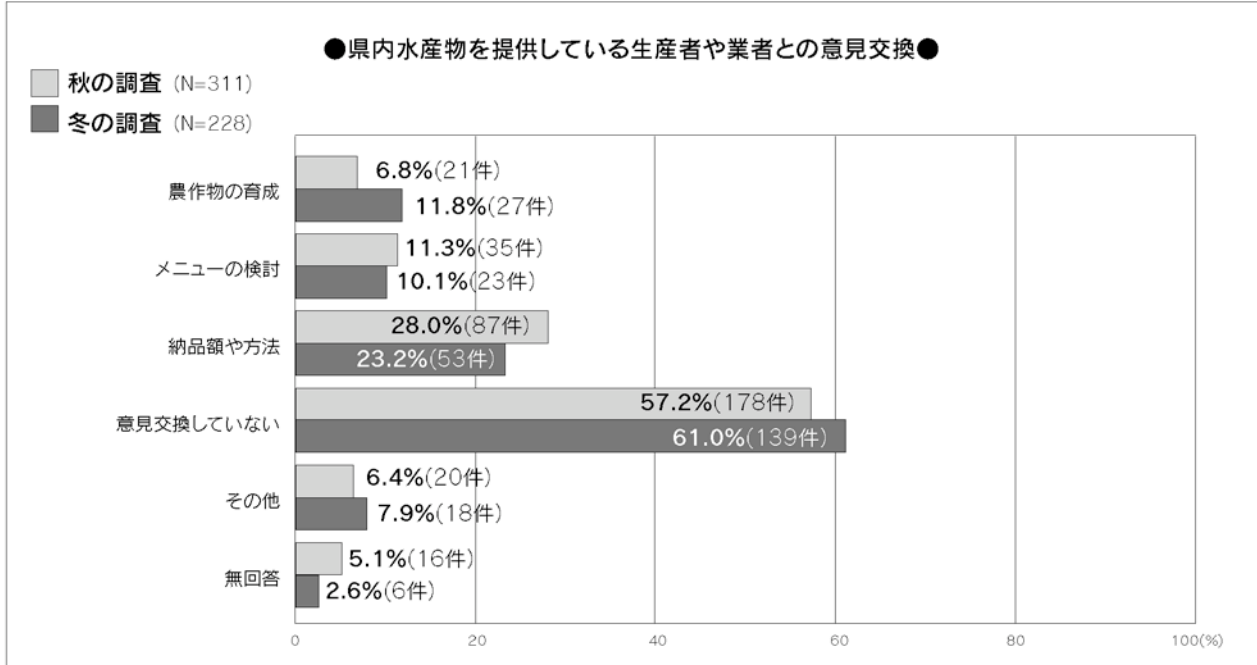
(複数回答)

冬の調査		県内産を扱っていることを知らせているか								
		合計	店内の掲示	メニュー表で表示	ホームページで表示	店員による声かけ	その他の方法で	特に知らせていない	無回答	
業種別	全体	件数	228	32	26	12	49	21	132	41
		%	100.0	14.0	11.4	5.3	21.5	9.2	57.9	18.0
	飲食店	件数	161	30	21	7	35	8	95	28
		%	100.0	18.6	13.0	4.3	21.7	5.0	59.0	17.4
	旅館・ホテル	件数	37	2	4	5	13	9	12	11
		%	100.0	5.4	10.8	13.5	35.1	24.3	32.4	29.7
	病院・福祉施設	件数	30	0	1	0	1	4	25	2
		%	100.0	0.0	3.3	0.0	3.3	13.3	83.3	6.7

③各項目において、県内水産物を提供している生産者や業者と意見交換をしているか
 秋、冬の調査ともに、「意見交換していない」と回答した割合が最も高い。

(ダイジェスト飲食・グラフ2)

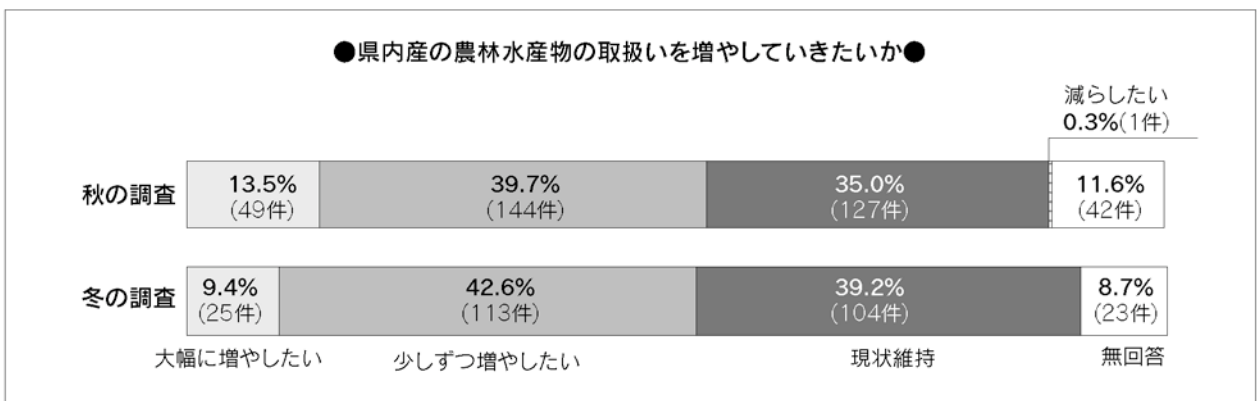
(複数回答)



④県内産の農林水産物の取扱いを増やしていきたいか

秋、冬の調査ともに「少しずつ増やしたい」と回答した割合が最も高く、「大幅に増やしたい」を合わせると、いずれの調査も5割以上が「増やしていきたい」と回答している。

(ダイジェスト飲食・グラフ3)

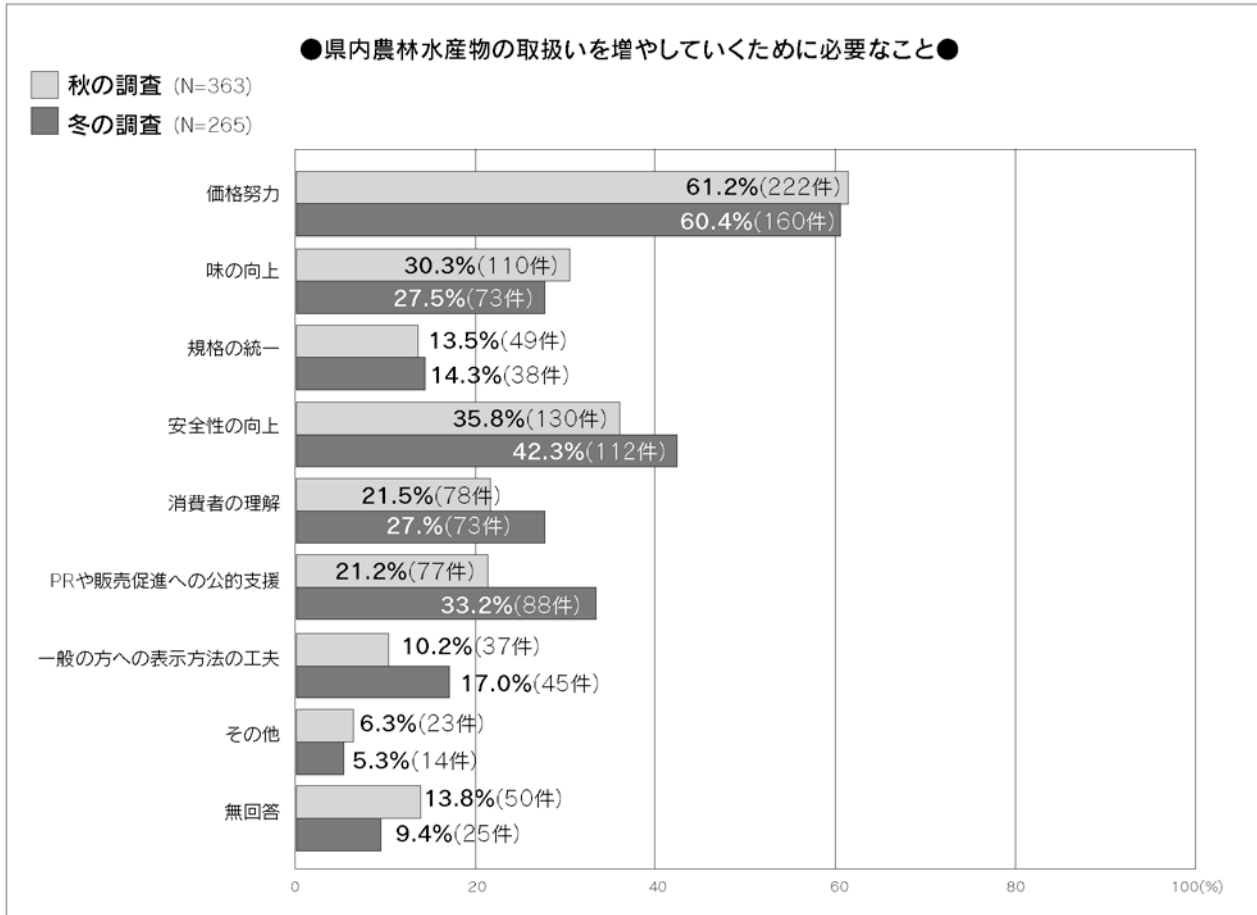


⑤県内産の農林水産物の取扱いを増やしていくために必要なこと

秋、冬の調査ともに、「価格努力」と回答した割合が最も高く、次いで、「安全性の向上」となっている。

(ダイジェスト飲食・グラフ4)

(複数回答)



⑥使用量と廃棄量(回答件数での傾向)

秋の調査では、農林水産物の廃棄率は5.5%、冬の調査では、廃棄率は3.3%となっている。いずれも、旅館・ホテルは、飲食店、病院・福祉施設と比べると高い廃棄率となっている。

(飲食・廃棄1)

秋の調査	農林水産物の使用量 (kg)	廃棄量 (kg)	廃棄量 (%)	回答件数
全体	997,497	54,558	5.5%	162
飲食店	17,814	1,326	7.4%	100
旅館・ホテル	4,630	719	15.5%	19
病院・福祉施設	975,053	52,513	5.4%	43

(飲食・廃棄2)

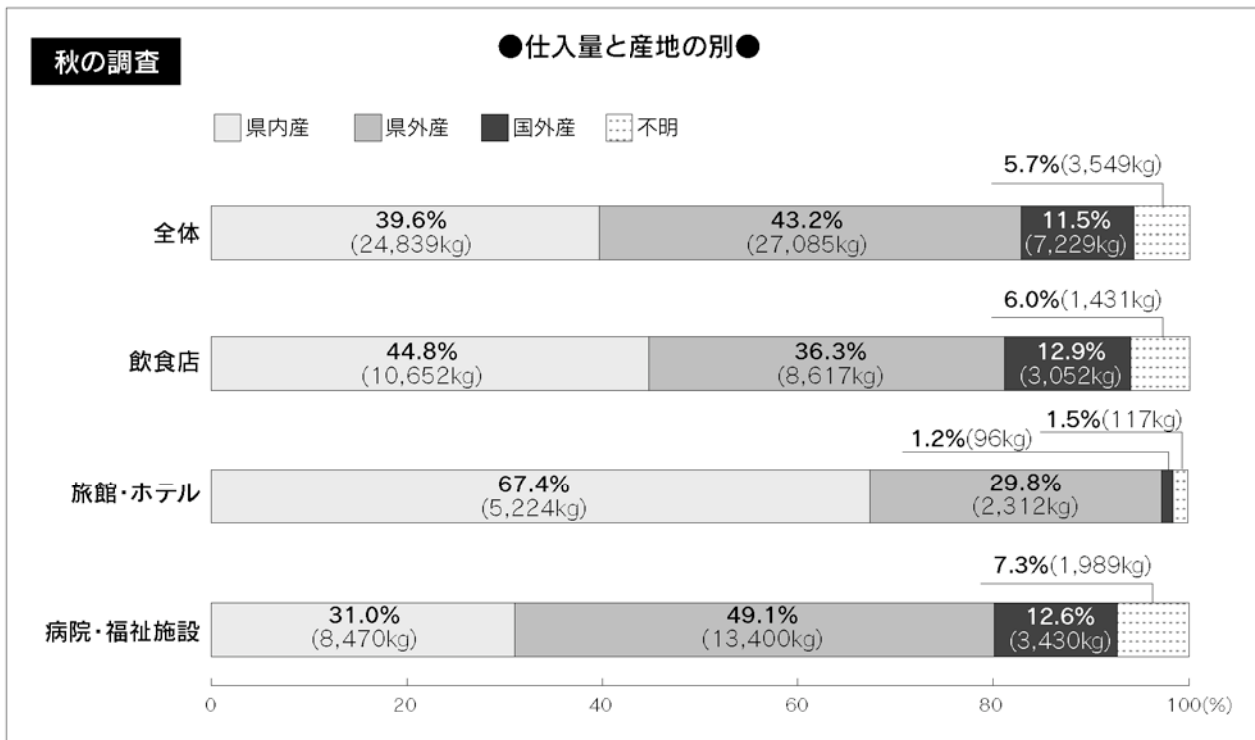
冬の調査	農林水産物の使用量 (kg)	廃棄量 (kg)	廃棄量 (%)	回答件数
全体	27,012	893	3.3%	106
飲食店	11,258	400	3.5%	63
旅館・ホテル	5,900	220	3.7%	18
病院・福祉施設	9,855	274	2.8%	25

2)仕入量と産地の別

秋の調査での1年間の農林水産物の仕入量における県内産の割合は、全体で39.6%である。業種別でみると、旅館・ホテルが67.4%と最も高く、次いで、飲食店が44.8%、病院・福祉施設31.0%となっている。

また、冬の調査では、1年間の農林水産物の仕入量における県内産の割合は、全体で42.6%である。業種別でみると、旅館・ホテルが62.1%と最も高く、次いで、飲食店が41.3%、病院・福祉施設が33.8%となっている。

(飲食・仕入グラフ1)



(飲食・仕入グラフ2)

